

章・項目名	指標	達成 (見込値 以上)	未達成 (見込値 未満)	基準値以上 見込値未満
第4章 健康づくりや介護予防の推進と活躍の場の充実	25	9	14	2
1.健康診査・検診の推進 P1～	3	1	2	0
2.フレイル・オーラルフレイル予防の推進 P3～	4	1	3	1
3.健康づくりから始める介護予防の推進 P5～	8	4	4	0
4.生きがいづくりと社会で活躍できる場の充実 P9～	10	3	6	1
第5章 生活支援と支え合いの地域づくり	25	16	8	1
1.地域包括支援センター機能の強化 P15～	3	1	2	0
2.在宅医療・介護の提供及び連携体制の強化 P17～	6	4	2	0
3.地域における支え合いの仕組みづくり P21～	8	7	1	0
4.本人の意思を尊重した支援 P25～	2	1	1	0
5.生活支援や高齢者に配慮した住まい環境の整備 P27～	5	2	2	1
6.家族介護者への支援 P30～	1	1	0	0

章・項目名	指標	達成 (見込値以上)	未達成 (見込値未満)	基準値以上 見込値未満
第6章 認知症施策の推進	10	5	1	4
1.普及啓発・本人発信支援 P31～	2	0	1	1
2.認知症の予防と早期発見・対応支援 P32～	4	3	0	1
3.認知症バリアフリーの推進 P34～	4	2	0	2
第7章 質が高く安定した介護保険事業の運営	4	2	2	0
1.介護サービスの質的向上の促進 P37～	4	2	2	0
2.介護サービス事業者への支援 P39～				
3.適正化の推進 P40～				
4.介護サービスと介護基盤の整備 P41～				

達成・・・令和2年度の見込値を達成したもの

未達成・・・令和2年度の見込値を達成できなかったもの

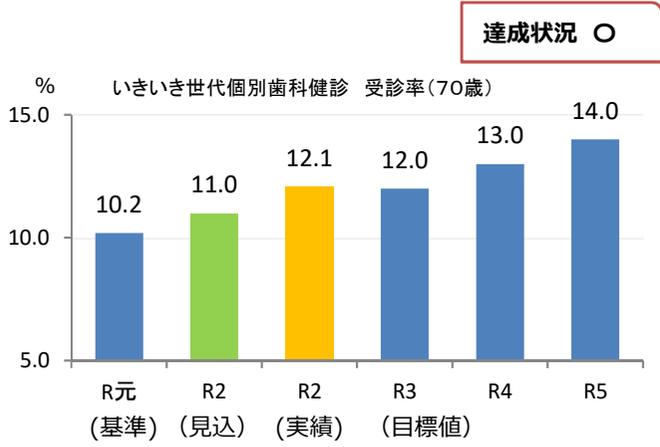
基準値以上見込値未満・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったもの

1 健康診査・検診の推進

【目指す姿】

高齢者になっても、心身の健康を保ち、生涯にわたって元気に活躍しています。

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

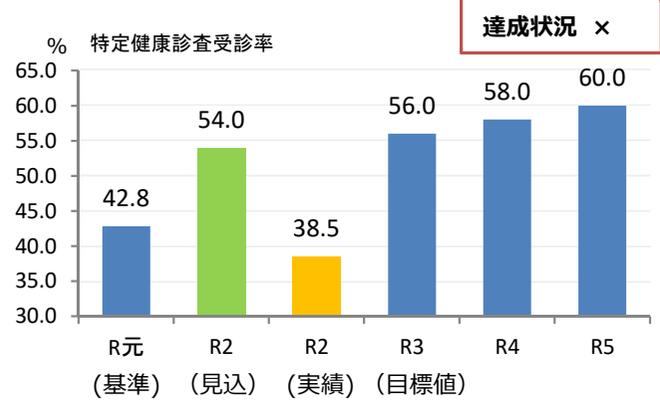


【取組み状況】

- ・受診率の向上に向け、受診券の中にナッジ理論を用いた案内文を掲載し、対象者の歯科受診への行動変容を促した。
- ・広報、市ホームページ、市公式フェイスブック、市公式LINE、ケーブルテレビ等を活用し、受診率向上につながるよう市民への周知啓発を行った。

【今後の取組み方針等】

- ・令和3年度より、「いきいき世代個別歯科健診」の対象者の年齢の拡大を図り、これまでの40歳から75歳までの5歳刻みから、40歳から80歳までの5歳刻みへと変更し、歯科受診の機会をより多く設定して実施する。
- ・昨年度に引き続き、対象者の歯科受診への行動変容を促すことを目的に、受診券の中にナッジ理論を用いた案内文を掲載した。



【取組み状況】

- ・特定健診の受診勧奨について、令和元年度まで委託業者による電話とハガキにより勧奨を実施してきたが、目立った成果が得られないため、令和2年度よりナッジ理論に基づく個々の特性に応じた5種類の受診勧奨ハガキによる勧奨に変更し、効果が高いと判定された対象者8,750人へ送付した(10月)。12人の返戻を除いた8,738人の受診率は42.0%であったが、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えのため受診率が伸び悩んだ。
- ・特定保健指導については、引き続き医療機関での指導と委託業者による訪問型指導を並行して実施した。しかし、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言により中止期間が生じたことや、面談による接触を避ける傾向から利用率は伸び悩んだ。
- ・医療受診勧奨については、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えを考慮して、自覚症状なく生活習慣病が進行するリスクと、医療機関受診は必要な外出であることを説明した。

【今後の取組み方針等】

- ・特定健診の受診勧奨について、特に不定期受診者に対して平均受診率50%以上と高い効果が得られたため、対象者数と送付回数を拡大して引き続き実施する予定である。
- ・特定保健指導については、引き続き医療機関での指導と委託業者による訪問型指導を並行して実施していく。また、感染症予防を考慮したオンライン面談を利用できるような体制を検討していく。
- ・医療受診勧奨については引き続き同様に実施する。加えて、糖尿病性腎症重症化のリスクが高いものの、前年度勧奨が完了しなかった者に対して、保健センターと連携して電話・訪問による再勧奨を実施する予定である。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したものと
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったものと
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったものと

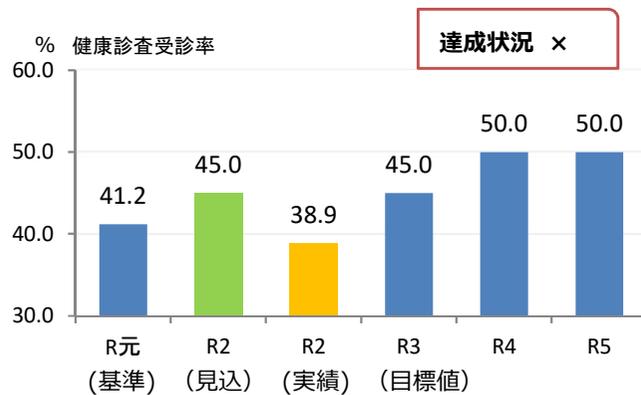
第4章 健康づくりや介護予防の推進と活躍の場の充実

1 健康診査・検診の推進

【目指す姿】

高齢者になっても、心身の健康を保ち、生涯にわたって元気に活躍しています。

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】



【取組み状況】

・令和2年度の質問票の見直しに伴い、後期高齢者に対してフレイルの状態をチェックする質問票へ変更し受診券とあわせて郵送した。

・フレイルチェックは、自らが体の状態を把握することで介護予防に繋がれるよう行うもので、より多くの高齢者の状態を把握できるように健康診査の未受診者に対する受診勧奨を実施した。本年度は、75歳から80歳の年齢に絞り、11月に649人を対象に案内を通知した。

そのうち、53.9%が受診したが、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えもあり全体の受診率は38.9%と伸び悩んだ。

【今後の取組み方針等】

・引き続き、受診勧奨の効果が高い75～80歳の年齢層に対し、受診勧奨をする予定であるが、封書からはがきに変更するなど、高齢者により分かりやすい案内方法を取り入れる。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したものと
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったものと
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったものと

2 フレイル・オーラルフレイル予防の推進

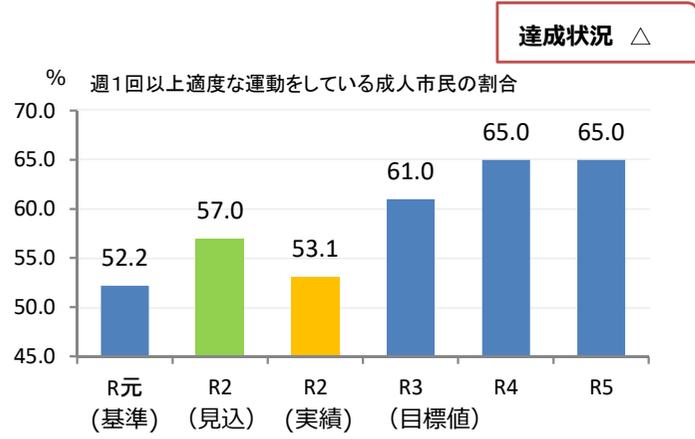
【目指す姿】

高齢者になっても、心身の健康を保ち、生涯にわたって元気に活躍しています。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したものの
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったものの
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったものの

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】



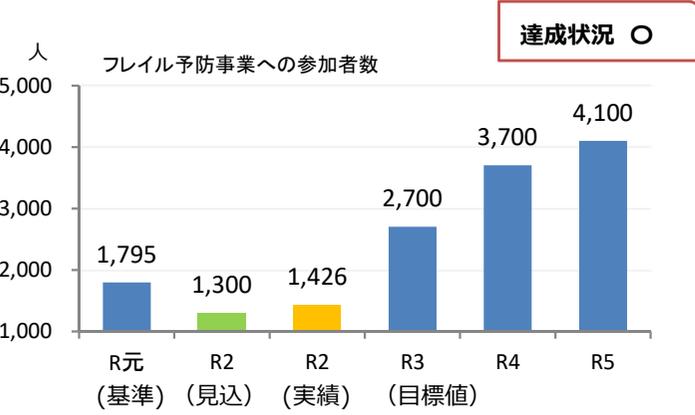
【取組み状況】

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スポーツ施設の利用制限等を行い、多くのスポーツ教室が中止となった。高齢者を対象にいきいきシルバースポーツ学級を実施したが、シルバースポーツ大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

・運動不足により健康が損なわれることを防ぐためにHPにて自宅でできる運動等を紹介した。

【今後の取組み方針等】

・コロナ禍においても対策を取りながら、スポーツに取り組むことができるよう情報提供を行う。



【取組み状況】

・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりサロンを中止せざるを得ない状況となり、フレイル予防事業への参加者数も減少した。

・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、感染予防対策をした上で、開催時間も縮小し実施した。

【今後の取組み方針等】

・令和3年度は、サロンにおけるフレイルチェックを本格的に始動させ、併せて住友理工によるフレイル評価システムを活用した測定会を東部地区をモデル地区として実施していく。

2 フレイル・オーラルフレイル予防の推進

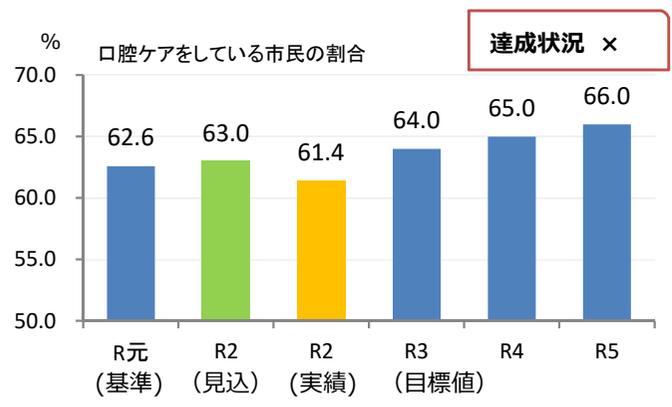
【目指す姿】

高齢者になっても、心身の健康を保ち、生涯にわたって元気に活躍しています。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したものと
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったものと
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったものと

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

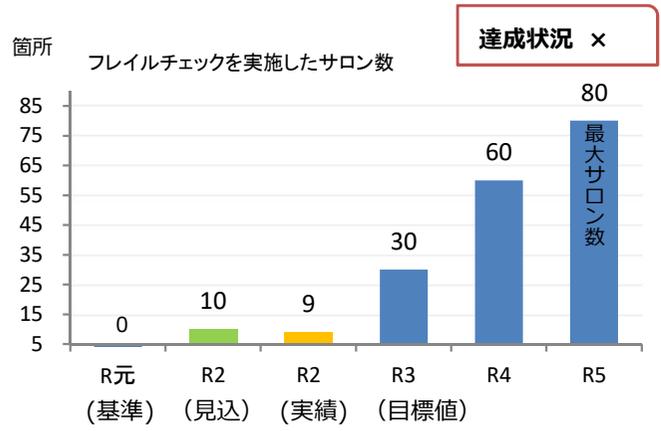


【取組み状況】

- ・市民の、歯・口腔の健康づくりに関する条例を令和3年4月1日付けで施行しており、広報やホームページ等で周知啓発し、口腔ケアをはじめとした歯科保健行動に関する市民や市民を取り巻く関係機関の意識の向上を図った。
- ・各ライフステージに応じ、歯科健診事業や歯科健康教育等を実施し、歯・口腔の健康の保持・増進に向けた意識の向上を図った。
- ・地域の老人クラブやサロンなどの団体を対象とした歯科健康教育を希望制で実施し、意識の向上を図った。

【今後の取組み方針等】

- ・今年度、関係機関と連携し、フレイル対策事業を実施。この事業において、市民に対し、オーラルフレイルに関する情報提供を行うと共に、個々の状況に応じた個別相談を実施し、必要に応じて継続支援を行う中で口腔ケアの実施を促すなどし、オーラルフレイルの重症化予防を図る。



【取組み状況】

- ・令和2年度より、サロン等通いの場におけるフレイルチェックを開催。参加者が自身の健康状態に「気づく」きっかけづくりとして実施するとともに、自宅でもチェックできるよう、ファイリングしたチェックシートを配布した。
- ・また、フレイルチェックと併せて家でもできる体操として、こまき山体操も実践し、サロンにおけるこまき山体操の周知啓発と実施の定着を図った。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で緊急事態宣言が発令され、依頼はあるものの開催中止となり、実施できず、目標達成に至らなかった。

【今後の取組み方針等】

- ・令和3年度は、社会福祉協議会と連携し、サロン連絡会で周知するとともに地域支え合い推進員からの紹介等を通じて、実施箇所を増加していく。

3 健康づくりから始める介護予防の推進

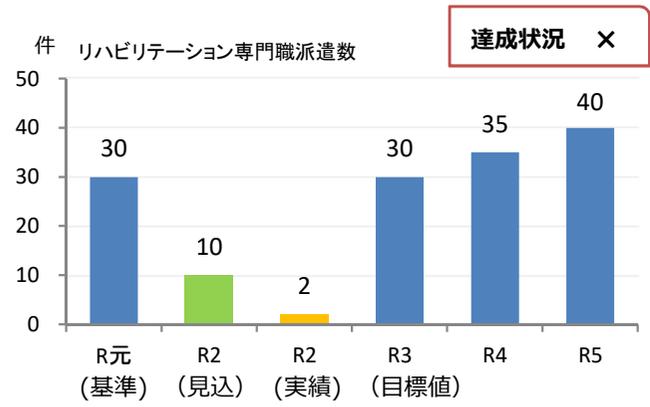
【目指す姿】

高齢者になっても、心身の健康を保ち、生涯にわたって元気に活躍しています。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したものと
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったものと
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったものと

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

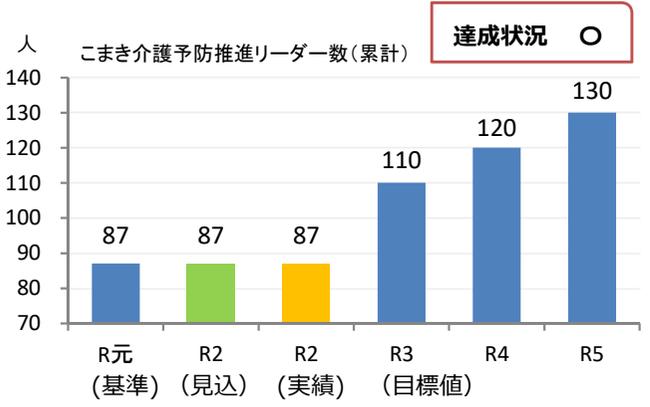


【取組み状況】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の集いの場(高齢者サロン等)が開催できない状況となり、専門職の派遣件数が減少した。
- ・リハビリテーション専門職については、単発の派遣を控え、週に1回継続的にこまき山体操に取り組む団体への支援(効果測定含む)をメインにした派遣とし、リハビリテーション専門職としての専門性を生かしてもらうよう派遣調整を行った。

【今後の取組み方針等】

- ・地域の集いの場の活動自粛等により、専門職の派遣の件数の増減に影響が出ているところではあるが、専門職の派遣に関して、改めて周知啓発を行う必要がある。
- ・こまき山体操の継続的な実施への支援を強化するため、リハビリテーション専門職の派遣については、引き続き効果測定とリーダーの支援を主に実施する。



【取組み状況】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、新たに介護予防リーダーを養成するための研修を中止した。
- ・また、令和2年度は、今までにこまき介護予防推進リーダー養成講座を受講した方々の振り返りの場を設ける予定をしていたが、こちらも中止とした。

【今後の取組み方針等】

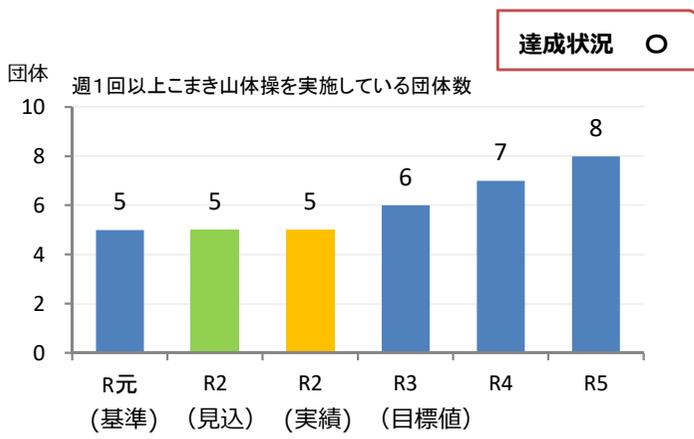
- ・令和3年度は、今までにこまき介護予防推進リーダー養成講座を受講した方々への支援として、「こまき介護予防推進リーダースキルアップ講座」を地域支え合い推進員、地域包括支援センターと連携して、企画・実施する。

3 健康づくりから始める介護予防の推進

【目指す姿】

高齢者になっても、心身の健康を保ち、生涯にわたって元気に活躍しています。

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

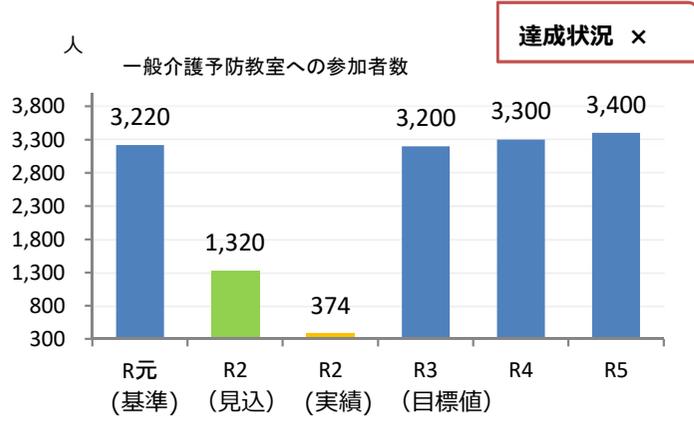


【取組み状況】

- ・こまき山体操の取組み推進のため、小牧市リハビリテーション連絡会に業務を委託し、こまき山体操を定期的に体験できる場「こまき山体操入門」を月に2回開催した。(新型コロナウイルスの影響により、8月から開始し、参加者延べ111名)
- ・新型コロナウイルスの影響により、地域活動が制限されたため、集まって体操を行えず、新規に団体の立ち上げにはいたらなかったが、ケーブルテレビ等の媒体を活用したり、社会福祉協議会と協力してDVDを作成するなど、広く啓発を図った。

【今後の取組み方針等】

- ・小牧市リハビリテーション連絡会に委託している「こまき山体操入門」に関して、引き続き開催する。現状として、参加者の健康意識の向上が中心となっているが、体操を地域で継続的に活用してもらえるような働きかけや、今後地域で取り組みたい方々への学びの場にしていく必要がある。
- ・日常生活圏域において、週に1回体操を行う場の増設を行うため、地域支え合い推進員、地域包括支援センターと連携して進める。



【取組み状況】

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況や、緊急事態宣言等の情勢を踏まえ、教室の開催可否を判断し、実施可能と判断した際は、感染症対策を行ったうえで教室を開催。
- ・これまで野口の郷、小針の郷で実施していた「笑いの泉～わっはっは講座～」を、新たに運動を取り入れた「いきいき元気塾」として開催。「カラダによく効く体操講習会」を、フレイルの周知啓発を目的とした「知って得するフレイル予防教室」として開始。
- ・高齢者の介護予防と保健事業の一体化を進めるにあたり、これまでの介護予防事業を整理した。

【今後の取組み方針等】

- ・新たに介護予防普及啓発事業を展開するとともに、併せて生きがいづくりにつながるボランティア育成を行う。
- ・住友理工株式会社と連携し、フレイル評価システムを活用した測定会を東部地区をモデル地区として開催し、市民へのフレイルの普及啓発と自身の健康状態の「気づき」の支援をおこなう。

3 健康づくりから始める介護予防の推進

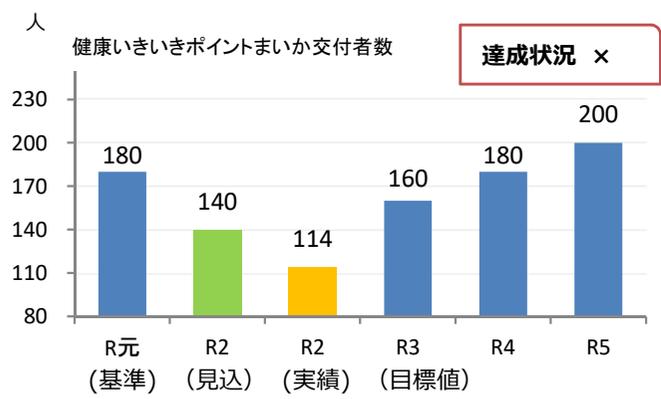
【目指す姿】

高齢者になっても、心身の健康を保ち、生涯にわたって元気に活躍しています。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したものと
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったものと
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったものと

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

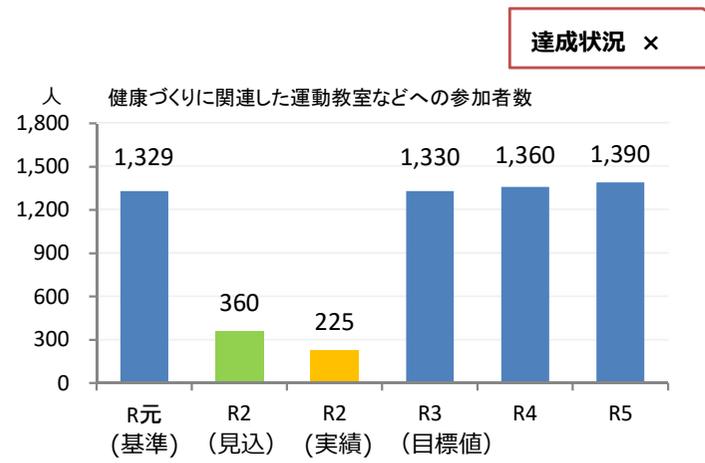


【取組み状況】

- ・取組み内容を検討し、獲得点数や点数をためる方法などについて、より簡素化した内容に変更した。
- ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ポイント付与対象事業の一部が中止になり、達成が難しい状況であったものの、参加者の増加に少しでもつながるよう、様々な機会でご本事業について周知啓発を行った。

【今後の取組み方針等】

- ・令和3年度より、対象を市民から市内在勤者も含めることとし、対象者の拡充を図る。また、これまで医療機関等で配布していた「ポイント券」等を廃止し、自己申告制にすることにより、より分かりやすく取り組みやすいものに変更していく。
- ・alkoとあわせて、市内在勤者への健康づくり及びインセンティブに活用していただくため、健康経営を視野に入れた取組みを協会けんぽと連携しながら実施していく。
- ・「まいか」と「商品券」の還元を合わせて行うことにより、申請の回数を1回と簡素化していく。



【取組み状況】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くのスポーツ教室を中止とした。(悪天候による講座の中止もあった。)
- ・開催した教室も定員を半分にする等、対策を講じたため、参加者数は大幅減少となった。

【今後の取組み方針等】

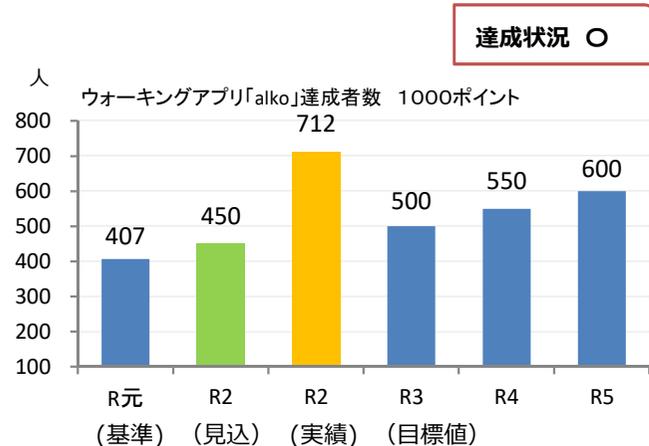
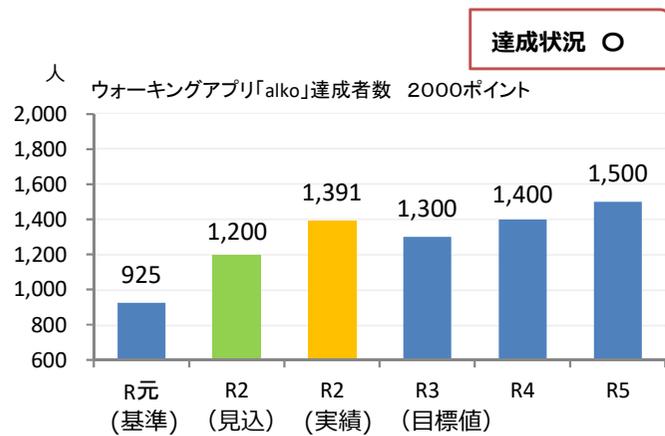
- ・コロナ禍でも市民の皆さんが気軽にスポーツに取り組めるよう、感染症対策を講じながら教室開催を検討する。
- ・天候による中止を避けるため、予備日を設ける。

3 健康づくりから始める介護予防の推進

【目指す姿】

高齢者になっても、心身の健康を保ち、生涯にわたって元気に活躍しています。

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】



【取組み状況】

・令和2年度は、コロナ禍でも気軽にできるウォーキングを推奨し、フレイル予防を推進するとともに、これまでよりalkoチャレンジの回数を増加させ、ポイント還元や景品の進呈など充実した内容で実施した。

・企業協賛によるチャレンジや他課との連携によるイベントの実施等により、周知啓発の場を多く設けたことにより、ダウンロード者数の増加及び、ポイント還元者数の増加につながった。

【今後の取組み方針等】

・令和3年度より健康いきいきポイント事業が保健センターから健康生きがい推進課に移管されることにより、alkoとの統一を図るため、健康いきいきポイント事業においてもalkoの利用に対するポイント付与等を行い、相乗効果をはかる。

・市内在勤者への健康づくり及びインセンティブに活用していただくため、健康経営を視野に入れた取組みを協会けんぽと連携しながら実施していく。

※達成状況の項目について

○・・・令和2年度の見込値を達成したもの

×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったもの

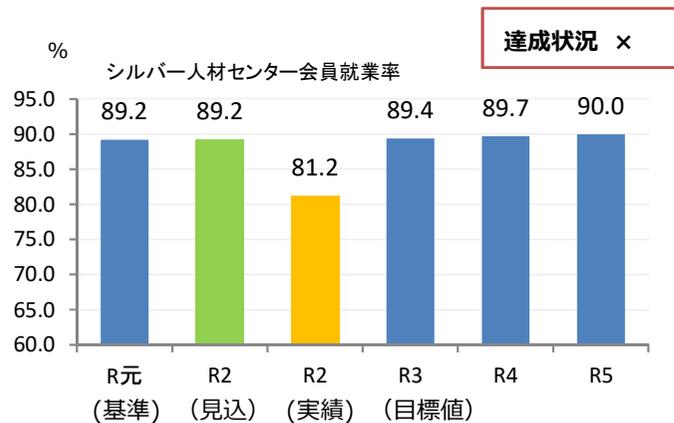
△・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったもの

4 生きがいづくりと社会で活躍できる場の充実

【目指す姿】

高齢者になっても、心身の健康を保ち、生涯にわたって元気に活躍しています。

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

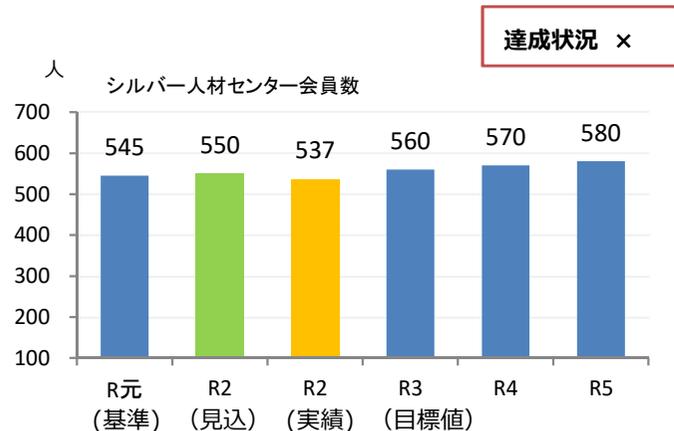


【取組み状況】

- ・長年の職業的経験や技能を活かしたいと望む60歳以上の高齢者に対して、働く機会を提供するため、シルバー人材センターに補助金を交付した。
- ・シルバー人材センター会員の就業率向上を目指し、市広報や商工会議所発行物へのチラシ折込みにより、シルバー事業の普及啓発に努めた。

【今後の取組み方針等】

- ・シルバー人材センター会員の就業率を向上させるため、今後もシルバー人材センターへの補助を継続する。
- ・会員の就業率向上を目指し、引き続き、シルバー事業の普及啓発活動を展開するとともに、新規事業（生活援助や子育て支援サービス等）の開拓に努める。



【取組み状況】

- ・シルバー人材センター会員数の増強を目指し、こまき巡回バスのボディ広告、女性向け入会案内チラシの市広報への折込み、市民交流テラスへの就労支援窓口の設置など、シルバー人材センターの周知と新規会員勧誘活動に努めた。

【今後の取組み方針等】

- ・シルバー人材センター会員数の増強に伴い、さらなる就業機会の開拓と提供を促進するため、今後もシルバー人材センターへの補助を継続する。
- ・シルバー人材センター案内チラシなどの市広報折込み、こまき巡回バス・社用車のボディ広告、市民交流テラスの就労支援窓口等を活用した新規会員獲得に向けた啓発活動に引き続き努める。

4 生きがいづくりと社会で活躍できる場の充実

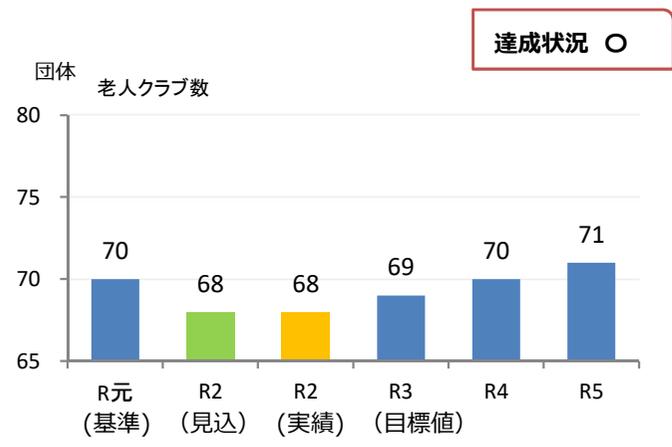
【目指す姿】

高齢者になっても、心身の健康を保ち、生涯にわたって元気に活躍しています。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したもの
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったもの
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったもの

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

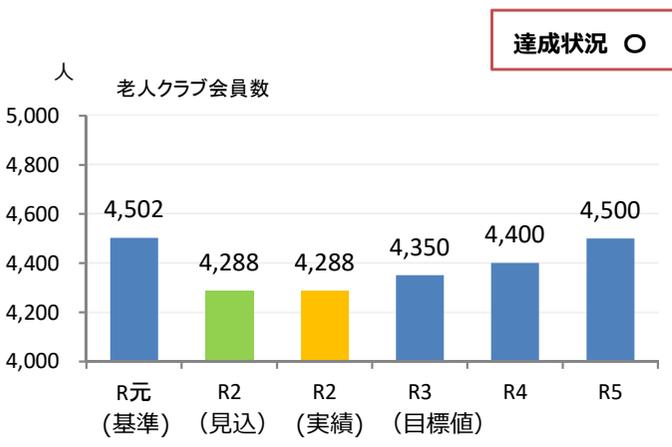


【取組み状況】

- ・60歳以上の高齢者の社会参加を促進する組織である老人クラブを支援するため、老人クラブ連合会及び単位老人クラブに対して補助金を交付した。
- ・各単位老人クラブの役員・指導者の高齢化に対応するため、老人クラブ連合会がリーダー養成講座を開催し、クラブの運営主体の若返り、刷新に取り組んできたが、後継者難から休廃止に追い込まれる老人クラブが生じているため、老人クラブ数は減少傾向にある。

【今後の取組み方針等】

- ・老人クラブを支援するため、老人クラブ連合会及び単位老人クラブに対する補助金を継続する。
- ・高齢化がますます進む中で、老人クラブの存在は、地域コミュニティを維持する上で重要であることから、「地域で頼られる」老人クラブ、地域の課題を解決する市民セクターとして老人クラブの役割の周知に努める。



【取組み状況】

- ・老人クラブへの加入条件の60歳は、まだ多くの人が働き続ける年代となり、高年齢者雇用安定法の改正の影響もあり、就業率は高まる傾向にある。
- ・老人クラブ会員数は、全国的に減少傾向にあり、「平成26年から」（老人クラブ会員数）100万人増強運動期間」として、積極的な勧誘の推進、（会員拡大）成功事例の共有などに努めてきた。

【今後の取組み方針等】

- ・老人クラブ会員の減少に歯止めを掛け、新規加入会員を拡大するため、勧誘チラシを積極的に配布するとともに、県内の（会員拡大）成功事例の研究を進めることにより、魅力ある老人クラブ活動への転換に努める。

4 生きがいづくりと社会で活躍できる場の充実

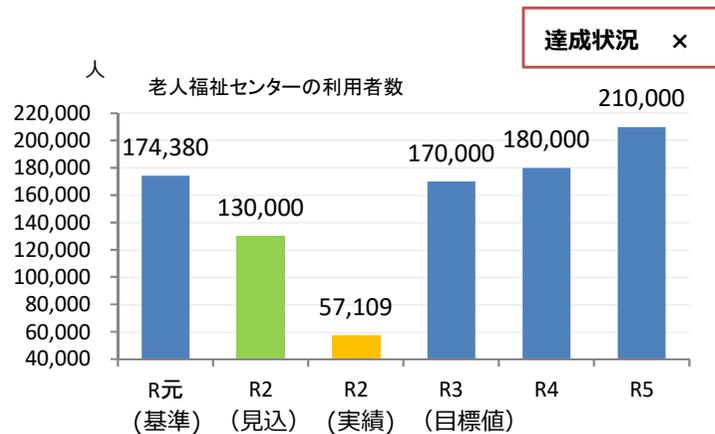
【目指す姿】

高齢者になっても、心身の健康を保ち、生涯にわたって元気に活躍しています。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したものと
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったものと
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったものと

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

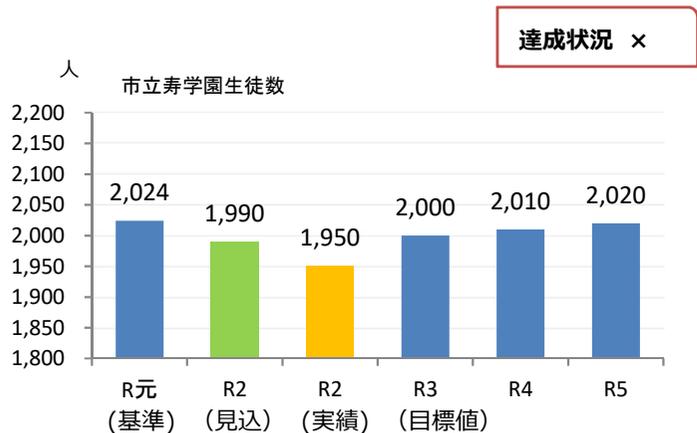


【取組み状況】

- ・各種教室等の開催や、利用者への生活・健康相談を実施することで高齢者の居場所づくりに努めた。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による施設休館の長期化、開館時においても利用者自らの自粛、イベント等の開催中止や各室収容定員の制限等、感染防止対策を講じた運営により利用者数は減少となった。

【今後の取組み方針等】

- ・老人福祉センターの取組みを市民に周知するために、月に一回の頻度で情報誌を発行する。
- ・イベント等の開催中止や各室収容定員の制限等、引き続き感染防止対策を講じた運営を行う。



【取組み状況】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月から小牧市立寿学園を中止し、年度内開催なし。
- ・寿学園だよりを2回発行し、理事及び生徒の近況等の報告や、こまき山体操、ワクティブこまきなどの案内をした。
また、生徒に対し川柳の募集を行った。
- ・寿学園の開催がないことにより新規加入者が少なく、死亡や転出が多かったため、生徒数が減少した。

【今後の取組み方針等】

- ・新型コロナウイルス感染症対策を講じた小牧市立寿学園の再開を行う。
- ・生徒へ川柳を募集し、小牧市ホームページ等で公開を続けていく。

4 生きがいづくりと社会で活躍できる場の充実

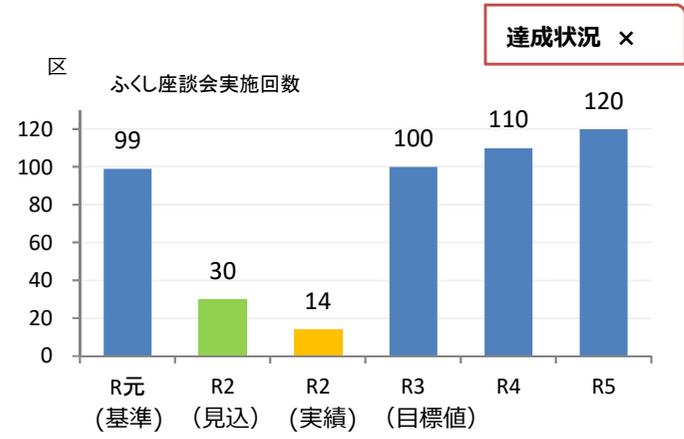
【目指す姿】

高齢者になっても、心身の健康を保ち、生涯にわたって元気に活躍しています。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したものと
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったものと
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったものと

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

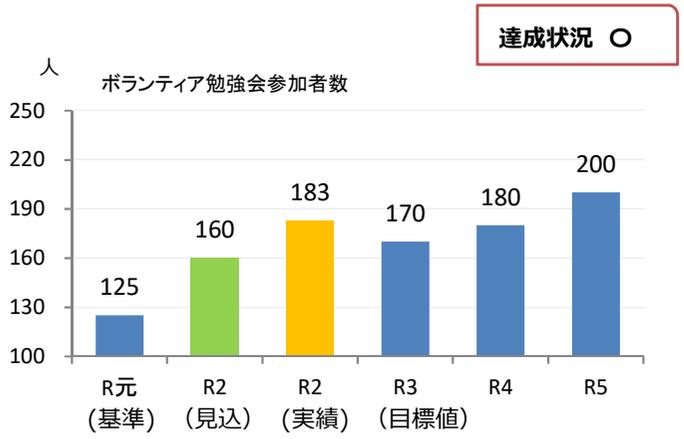


【取組み状況】

・ふくし座談会は、避難行動要支援者台帳を活用した見守り活動の普及を図っているが、新型コロナウイルス感染症の影響から活動の自粛をしていた。中でも、避難行動要支援者台帳を活用した見守り訓練（安田区、小木上区、梵天藤栄区）を実施したり、この取組みや安心カプセルについて他の区へ紹介するなどした。

【今後の取組み方針等】

・避難行動要支援者台帳の活用を広く展開するため、安心カプセルの普及も通して、来年度の地域の活動に結び付けていく。



【取組み状況】

・寂光院山主の松平氏を講師にむかえ、「大切なもの 大切なこと」をテーマとし長い人生において、より良い生き方は何かの講話を実施した。参加者：67名

・コロナ禍における身体の健康面ということで市保健師に講師依頼し「感染に負けない身体づくり」をテーマとし、基本的な感染対策から、日ごろの健康づくりにおいて大切となるポイントについての講話を実施した。参加者：63名

・コロナ禍における精神面の健康づくりということで、県精神保健福祉センター相談員に「こころを健康に保つコツ」をテーマに昨今「コロナ鬱」という言葉があるように、コロナの影響は精神面でも大きくなってきている。そんな中でも自身の心の状況を把握し、健やかであるためのアドバイスをいただく。参加者：53名

【今後の取組み方針等】

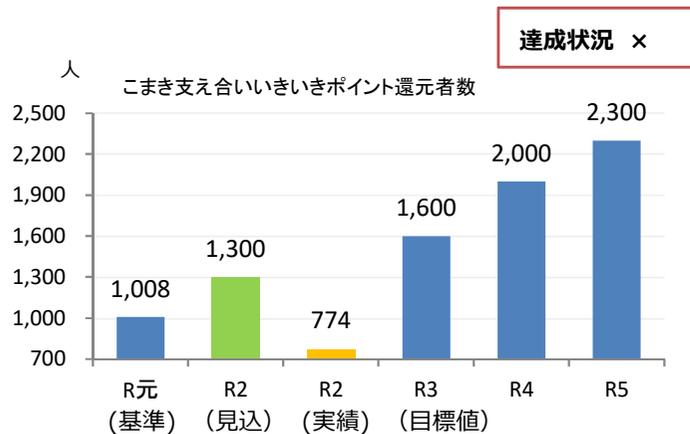
・年2回の開催から3回に増やし、コロナ禍において人数制限があったものの、ボランティアアンケートを参考にし、コロナ禍におけるボランティアの課題やモチベーションを高められるような内容を実施した結果、多くの方に参加していただいた。今後も2回以上の開催を目指すとともに、オンライン参加での受講形式や勉強会内容について検討していく。

4 生きがいづくりと社会で活躍できる場の充実

【目指す姿】

高齢者になっても、心身の健康を保ち、生涯にわたって元気に活躍しています。

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】



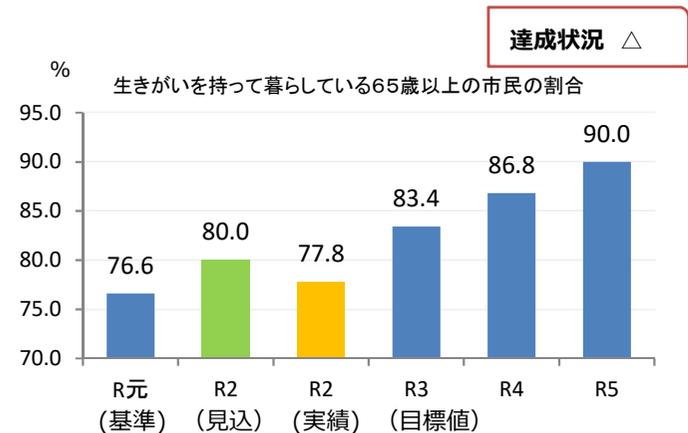
【取組み状況】

・こまき支え合いいきいきポイントは、「暮らしの安心」を支える地域での支え合い助け合い活動（介護ポイント、サロンポイント及び地域ポイント）に協力した場合、ポイントを付与し、そのポイントを市内限定商品券に還元できる制度とし、地域活動の協力者の励み・やりがい・きっかけをつくり、地域活動の協力者の増加につなげられるよう実施した。

・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により高齢者サロン活動の中止や介護施設での受け入れ中止等、活動が減ったため、ポイント還元者数が減少した。

【今後の取組み方針等】

・R3年度以降は、こまき市民交流テラスワクティブこまきにある市民活動ネットワークに事務委託をして、受入団体の拡充及び登録者の増加に努めるとともに、地域協議会での「高齢者の生活支援」活動の取組みに向けた活動支援や地域での支え合い活動の検討等、必要に応じて制度の見直しを図る。



【取組み状況】

・高齢者の生きがいづくり、地域活動の充実を図るため、こまき市民交流テラスワクティブこまきに「アクティブシニアのための総合相談」を開設した。

・総合窓口では、相談員が月2回窓口を開設し、ハローワーク、シルバー人材センターによる就労相談、市民活動ネットワークによる市民活動相談、ボランティアセンターによるボランティア相談を受け付けた。

【今後の取組み方針等】

・新型コロナウイルス感染症の影響で、経済的な影響により、生きがいづくりよりも就労に対するニーズが高まっている。

・令和3年度以降、企業に働きかけ、退職前の従業員を対象に、セミナーを開催するなど実施していく。

・愛知県と連携し、小牧市において就労セミナーを開催する。

※達成状況の項目について

○・・・令和2年度の見込値を達成したものと

×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったものと

△・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったものと

4 生きがいづくりと社会で活躍できる場の充実

【目指す姿】

高齢者になっても、心身の健康を保ち、生涯にわたって元気に活躍しています。

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

【参考】指標	R元	R2
地域3あい事業実施地区数	63地区	43地区
シルバースポーツ大会参加者数	553人	中止
校区スポーツ振興会実施校数	16校	16校

1 地域包括支援センター機能の強化

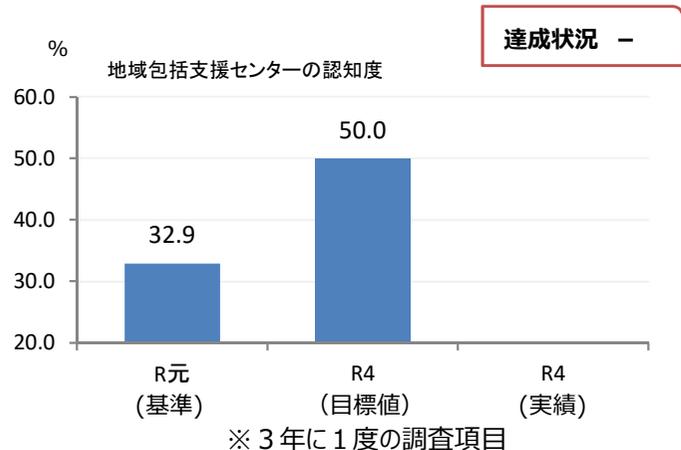
【目指す姿】

住民がお互いさまの気持ちで協力し支え合いながら、住み慣れた地域で暮らし続けています。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したものと
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったものと
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったものと

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】



【取組み状況】

- ・市の広報の隔月15日号において、地域包括支援センターPRコーナーの記事を掲載し、地域包括支援センター業務の周知を行った。
- ・大垣共立銀行田県支店やドン・キホーテ（桃花台）で出張相談会を行った。

【今後の取組み方針等】

- ・引き続き、市の広報にて地域包括支援センターの業務内容等を掲載し周知を図る。
- ・11月に開催予定の介護展では、包括のチラシをひとまとめにしたものを、市民に配布し周知を図る。



【取組み状況】

- ・相談をワンストップで受け、早期段階での相談対応に努めるとともに、アウトリーチ型の相談体制を整えている。
- ・昨年度からの相談件数が減った理由として、新型コロナウイルス感染症の影響により相談がしづらい環境であったことが挙げられる。

【今後の取組み方針等】

- ・「新しい生活様式」を踏まえ、感染症対策の強化を図り安心して相談できる環境を整える。
- ・地域包括支援センターまで出向くことができない相談者も増加しているため、自宅訪問やサロン等住民の集いの場への訪問、ドン・キホーテ（桃花台）や西部コミュニティセンターでの出張相談会など、より身近な場所での相談を図る。

1 地域包括支援センター機能の強化

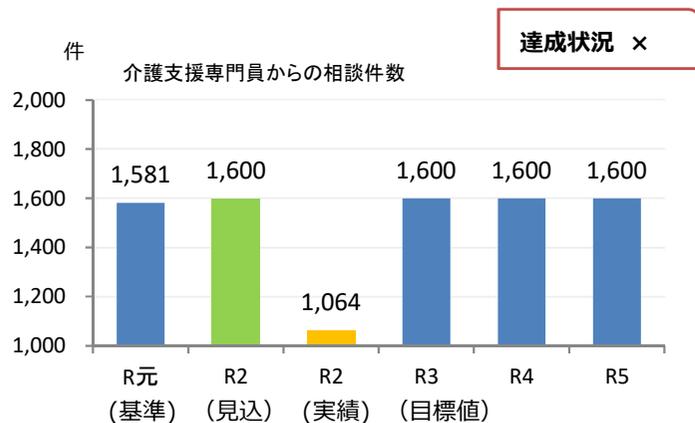
【目指す姿】

住民がお互いさまの気持ちで協力し支え合いながら、住み慣れた地域で暮らし続けています。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したものと
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったものと
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったものと

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

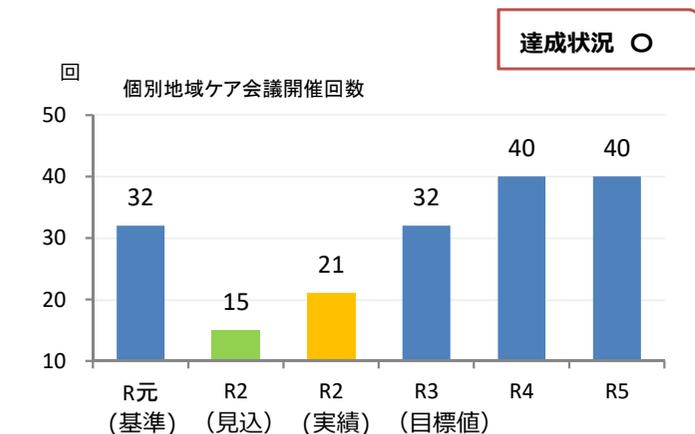


【取組み状況】

- ・ケアマネジメント研修を行い、グループワークを通しての意見交換を行った。ケアマネジャーの考えや困っていること等を把握するとともに、アンケートを取ることで研修の意義や改善点を見直すことができた。
- ・令和2年度は、ほとんどの地域包括支援センターで介護予防プラン作成の委託率が減っており、相対して、ケアマネジャーからの相談件数も減ったものと考えられる。

【今後の取組み方針等】

- ・各地域包括支援センターの日報の「ケアマネジメント相談」「困難事例支援」を分析し、地域課題を把握する。把握した課題はケアマネジメント支援会議（旧事業所交流会）で共有し、課題について解決策を検討していく。
- ・今後新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ケアマネジメント支援会議や研修を行うことが困難になることが考えられるため、電子連絡帳「こまきつながるくん連絡帳」を利用した意見交換や連携を図っていく。



【取組み状況】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止による自粛の影響もあり、個別地域ケア会議の実施回数は減少したものの、見込を上回って個別地域ケア会議を開催することができた。
- ・市内統一した考えで実施していくことを目的に、個別地域ケア会議全体の体系の整理や実施方法など、個別地域ケア会議マニュアルの見直しに着手した。

【今後の取組み方針等】

- ・個別地域ケア会議で得た課題を多職種連携カンファレンスへと還元し、多角的な観点から協議を行うことで課題の解決を図る。
- ・引き続き個人情報の取り扱いや報告書・誓約書の統一など、個別地域ケア会議マニュアルの見直しを行う。
- ・新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、オンラインでの個別地域ケア会議の開催を検討する。

2 在宅医療・介護の提供及び連携体制の強化

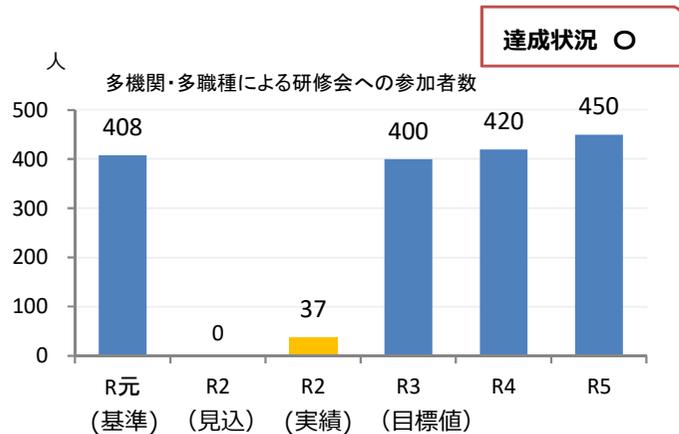
【目指す姿】

住民がお互いさまの気持ちで協力し支え合いながら、住み慣れた地域で暮らし続けています。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したものと
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったものと
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったものと

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

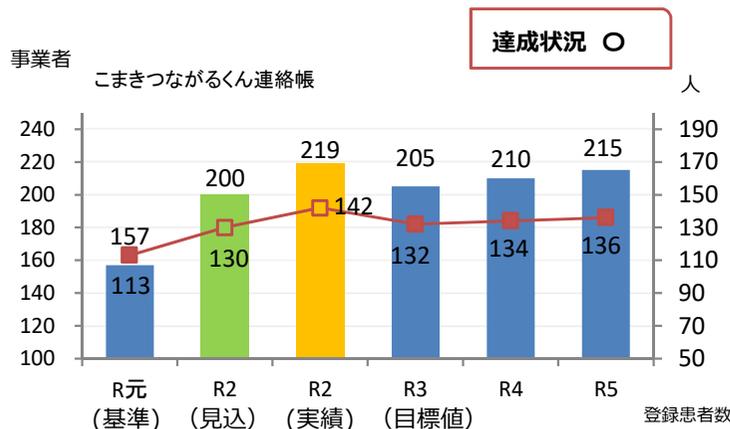


【取組み状況】

・個別の事例を通じた医療・介護専門職の顔の見える関係づくりを目的として、多職種連携研修、医療・介護勉強会を開催してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響から多職種連携研修は見送ることとし、医療・介護勉強会は対面形式ではなく、オンライン形式で小牧ごっくんスコア2020を開催した。参加者は37名。

【今後の取組み方針等】

- ・研修会開催方法について、感染対策を実施し、対面形式で開催すべき内容か、WEB形式で足りるか、両方を併用した方が良いかなど、内容に応じた研修会の開催方法を検討し、実施する。
- ・研修会、勉強会のテーマについて、今まで以上に在宅医療・介護連携の充実に向けたものを開催するよう検討する。



【取組み状況】

- ・訪問時の駐車場マッチングシステム「こまきハートフルパーキング」をICT「こまきつながるくん連絡帳」に機能追加し、オンライン説明会を登録事業者へ向けて実施した。参加者47名。
- ・「こまきつながるくん連絡帳」を研修会、勉強会などの情報発信ツールとし、ICTの活用を意識的に進めた。

【今後の取組み方針等】

- ・「こまきハートフルパーキング」について、市民、企業等にアプローチを続け、駐車場の提供者を増やしていくとともに、「こまきつながるくん連絡帳」の登録事業者には、「こまきハートフルパーキング」の利用を促す。
- ・引き続き「こまきつながるくん連絡帳」を研修会、勉強会などの情報発信ツールとし、ICTの活用を意識的に進めていく。

2 在宅医療・介護の提供及び連携体制の強化

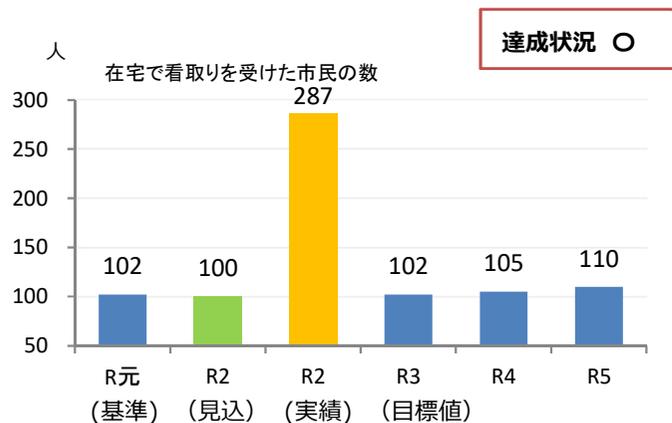
【目指す姿】

住民がお互いさまの気持ちで協力し支え合いながら、住み慣れた地域で暮らし続けています。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したもの
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったもの
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったもの

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

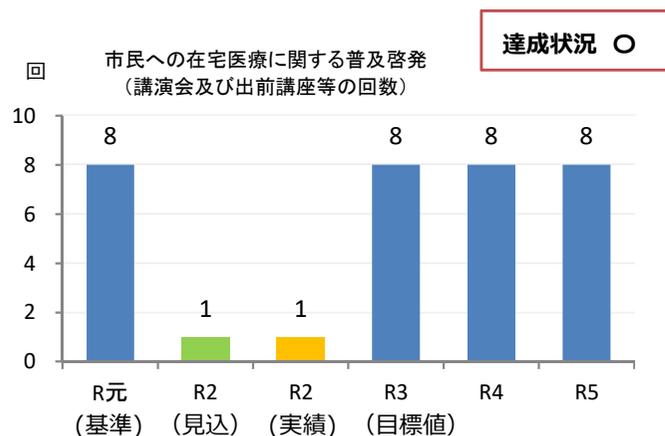


【取組み状況】

- ・在宅における往診、診療を受けている方、在宅看取りを受けた方、どちらも増加した。
- ・在宅医療の診療所が新たに開院されたこと等により、実績値が見込みよりも増加したと考えられる。
- ・在宅医療導入研修会は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送ることとした。

【今後の取組み方針等】

- ・在宅看取りを受けた方を増やすには、在宅における往診、診療を受けている方を増やすことだと考えるため、次項のように在宅医療の普及啓発を継続する。



【取組み状況】

- ・在宅医療・介護の可能性を広く周知するため、隔月15日号の市広報へ在宅医療に関する内容を掲載している。
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響から市民講演会を見送ることとした。
- ・出前講座等も自粛する形となり、1施設へ1回行った。
- ・「小牧市の在宅医療・介護」パンフレットを見直し、医療・介護連携機関へ送付した。

【今後の取組み方針等】

- ・市広報や在宅医療・介護連携に関するパンフレット（小牧の在宅医療）にて啓発を続ける。
- ・市民講演会は開催する方向で検討していく。

2 在宅医療・介護の提供及び連携体制の強化

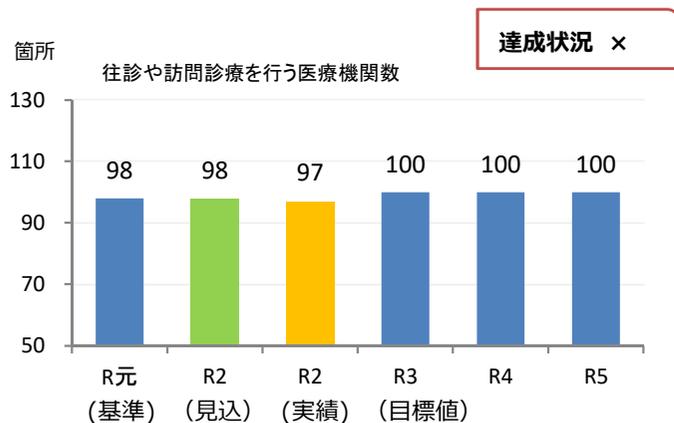
【目指す姿】

住民がお互いさまの気持ちで協力し支え合いながら、住み慣れた地域で暮らし続けています。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したものと
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったものと
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったものと

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

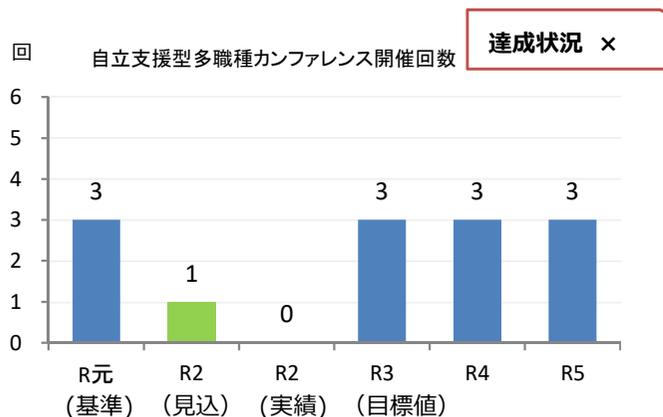


【取組み状況】

・医療機関数は昨年と比べ減少したが、在宅における往診、診療を受けている方、在宅看取りを受けた方、その数も増加しており、在宅医療を希望される方は増加している。

【今後の取組み方針等】

・在宅医療・介護に関する周知啓発を続けることで、在宅を希望する方が増え、医療機関数も増加すると思われる。
 ・在宅医療・介護連携サポートセンターの存在と、在宅で受けることができる医療・介護の内容について、広報誌などで周知啓発を続けていく。



【取組み状況】

・年4回程度の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催することができなかったため、多職種連携カンファレンスの趣旨及び進め方の説明動画を作成し、こまきつながるくん連絡帳により、介護関係者、医療関係者等に周知した。

【今後の取組み方針等】

・自立支援型多職種連携カンファレンスを年内に3回開催する予定であり、年明けには初めての重度化防止型多職種連携カンファレンスを1回開催する予定。

2 在宅医療・介護の提供及び連携体制の強化

【目指す姿】

住民がお互いさまの気持ちで協力し支え合いながら、住み慣れた地域で暮らし続けています。

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

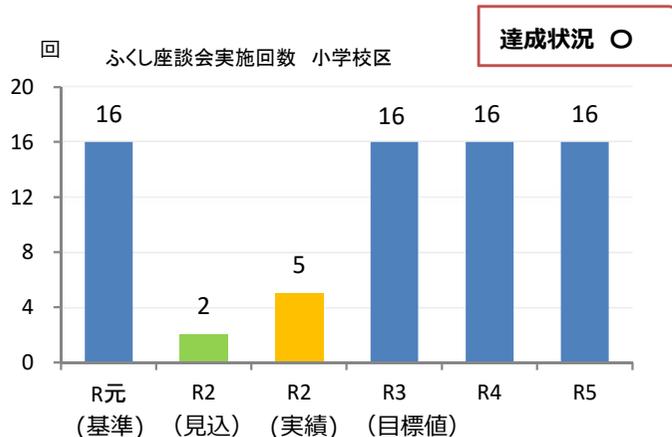
【参考】指標		R元	R2
在宅療養支援診療所数	病院	0箇所	0箇所
	診療所	19箇所	16箇所
在宅療養支援歯科診療所数		10箇所	10箇所
24時間対応体制調剤薬局の数		12箇所	12箇所
24時間対応体制訪問看護ステーション数		11箇所	11箇所

3 地域における支え合いの仕組みづくり

【目指す姿】

住民がお互いさまの気持ちで協力し支え合いながら、住み慣れた地域で暮らし続けています。

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

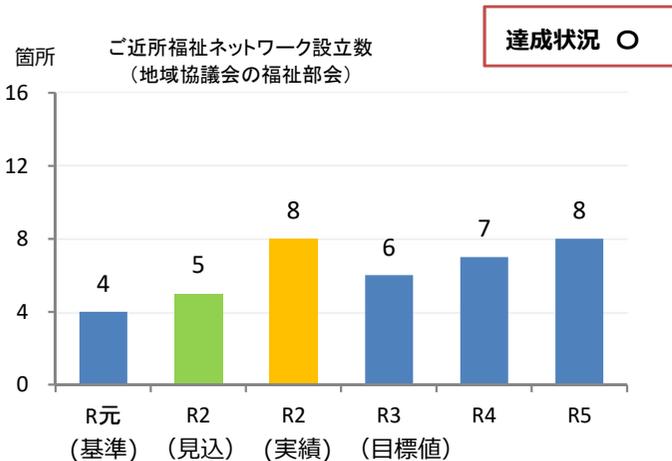


【取組み状況】

・南部地区の子ども食堂の開設へ向けての話し合いに加え、介護予防拠点としての機能が持てるよう、令和3年度の立ち上げに向けて民生委員やボランティアと協議を進めている。

【今後の取組み方針等】

・南部地区において、「こまき山体操」を週に1回実施する介護予防拠点としての立ち上げに成功した。近隣のサロン等へチラシを配布し、少しずつ広めていく。



【取組み状況】

・北里小学校区、三ツ淵小学校区など、福祉部会が新たに立ち上がった。
・他自治体からの視察申込が「しのおか おたすけ隊」にあり、コロナ禍の状況であるため、社会福祉協議会と協力し、オンラインでの意見交換（立ち上げから活動内容の説明や質疑等）を実施した。

【今後の取組み方針等】

・大城小学校区において、福祉部会を立ち上げる動きがあり、どのような活動をしていくか、地域の意見を聞くため、アンケートを実施する予定。

3 地域における支え合いの仕組みづくり

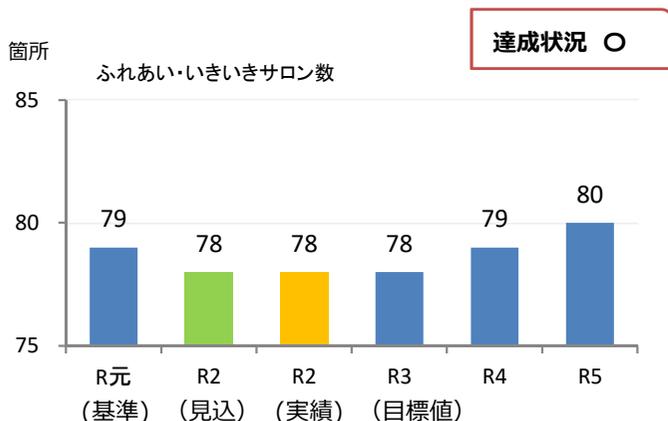
【目指す姿】

住民がお互いさまの気持ちで協力し支え合いながら、住み慣れた地域で暮らし続けています。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したものと
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったものと
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったものと

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

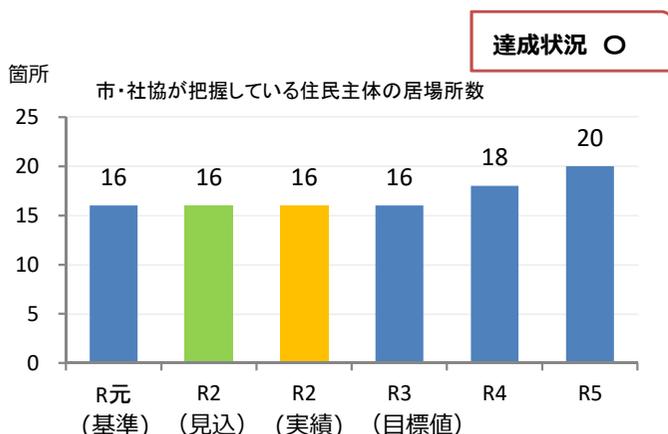


【取組み状況】

・サロン連絡会を年1回開催。9月17日・18日（午前・午後）23日（午後）に3回に分けて実施。内容は、①「コロナウイルスと付き合いながらできるサロン活動を考え、アイデアを共有しよう」、②「今、集まれなくてもつながるために、私たちにできることを考えよう。」
 参加サロンは、63ヶ所で、計111名の参加（内訳：①90名、②21名）
 コロナ禍の中、サロンで集えなくても、サロンボランティアと参加者がつながりづくりができるように社会福祉協議会から「自宅で出来るタオル体操」パンフレットやフレイル予防（食生活編）パンフ等を各サロン代表へ配布し、活用してもらったり、各サロンの取り組みでボランティアと利用者とのつながり作りを進めた。

【今後の取組み方針等】

- ・サロンの数が増えるほど、担い手や運営に関する相談事の支援が必要になると思われる。地域支え合い推進員が主となり、サロン連絡会を開催し、サロン同士のつながりの創出など、サロンを継続するための取り組みを支援していく。
- ・令和3年度は新たにサロンが1箇所（古雅）が設立される予定。



【取組み状況】

・地域で福祉活動がしたいと思っている方を対象に「シニアライフ講座」を開催し、13名の参加があった。コロナ禍であるため、少人数での開催となった。
 ・ボランティア活動自体の自粛が目立ち、ボランティア活動することによる相談は減少し、土曜窓口も中止した。
 ・R2年度内に実施したコロナ禍におけるボランティアグループ状況調査において、ボランティアにとって活動はライフワークの一環となっていることが印象的だった。

【今後の取組み方針等】

- ・「シニアライフ講座」は令和3年度も開催する予定。
- ・ボランティア活動、その生活を少しずつでも取り戻していく意味でも令和3年度からは、コロナ禍におけるボランティア活動実施への相談対応や活動支援が多くなると思われる。

3 地域における支え合いの仕組みづくり

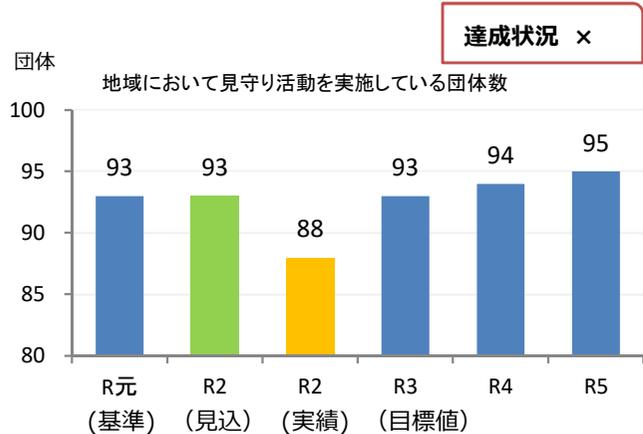
【目指す姿】

住民がお互いさまの気持ちで協力し支え合いながら、住み慣れた地域で暮らし続けています。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したものと
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったものと
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったものと

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

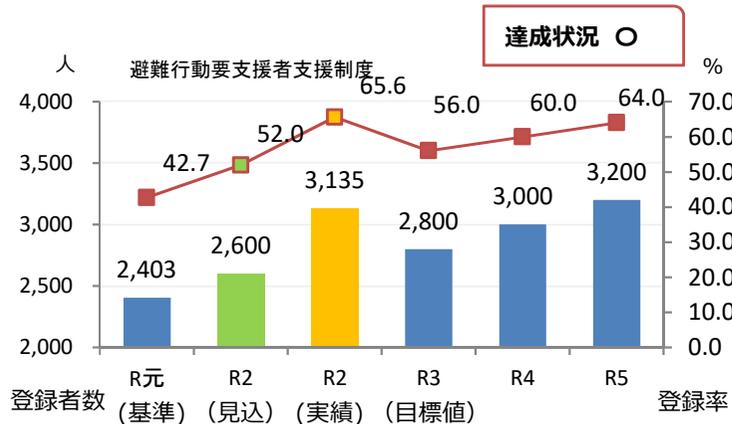


【取組み状況】

- ・避難行動要支援者台帳を活用した見守り（出向く見守り）については、安田区、梵天藤栄区、小木上区、で継続して実施され地域での見守り体制を構築し、安心カプセルを活用した体制強化に努めた。
- ・篠岡および光ヶ丘小学校区では、全国一斉休校により夏休みが短縮された児童生徒たちが、真夏の酷暑期に登校しなければならない状況を心配し、住民に対し、自宅の中や玄関、庭先などから日常生活を送りながら見守る「ながら見守り」を呼びかけた。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を見送る団体もあったため、実施している団体数は減少した。

【今後の取組み方針等】

- ・地域の団体だけでなく、見守りに協力していただける事業者も増やすために周知を図る。
- ・引き続き、避難行動要支援者台帳の活用とともに、安心カプセルを活用した見守りの強化を行う。



【取組み状況】

- ・避難行動要支援者支援制度の創設から5年が経過したことを踏まえ、避難行動要支援者の対象者である、介護保険における要介護度3以上の方や身体障害者手帳1級～3級をお持ちの方などのうち、未登録者を対象に意向確認調査を実施した。
- ・すでに登録されている方にも現況調査を実施し、体調や同居者の状況等に変わりがないかの確認を行った。

【今後の取組み方針等】

- ・避難行動要支援者台帳を活用した地域見守り体制の構築の支援を地域支え合い推進員と連携して行い、制度の周知を行う。
- ・災害対策基本法の改正に伴い、台帳に記載された要支援者の個別避難計画の作成方法、福祉事業所との連携のあり方について検討を進める。

3 地域における支え合いの仕組みづくり

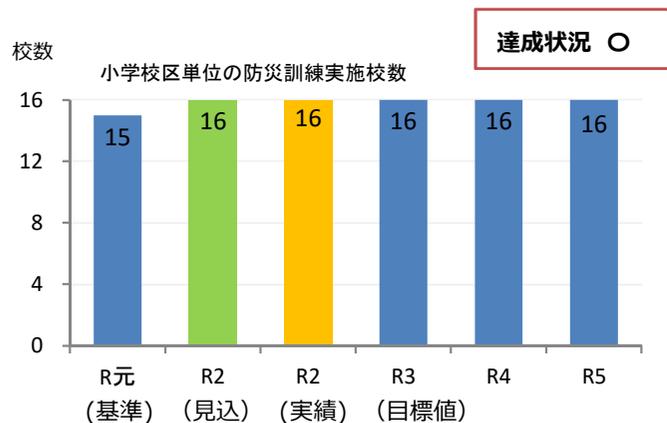
【目指す姿】

住民がお互いさまの気持ちで協力し支え合いながら、住み慣れた地域で暮らし続けています。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したもの
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったもの
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったもの

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

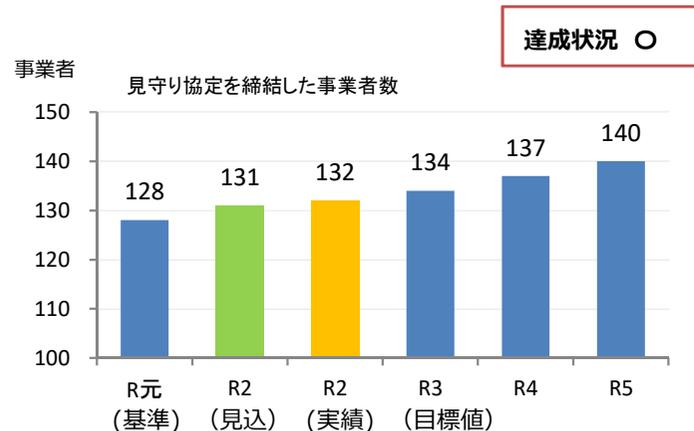


【取組み状況】

- ・市内全16小学校区において、小学校区地区防災訓練を実施した。
- ・自助、共助の活動とともに新型コロナウイルス感染症対策に重点を置き、住民主体の避難所運営を考慮した訓練企画がされた。

【今後の取組み方針等】

- ・引き続き、市内全16小学校区で訓練を実施する。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により前年度より参加人数が大幅に減少したため、災害発生時の地域の防災リーダーとなり得る住民の育成に努める。



【取組み状況】

- ・見守り協定締結業者から連絡を受けた場合、必要に応じて高齢者宅を訪問し安否の確認を行った。

【今後の取組み方針等】

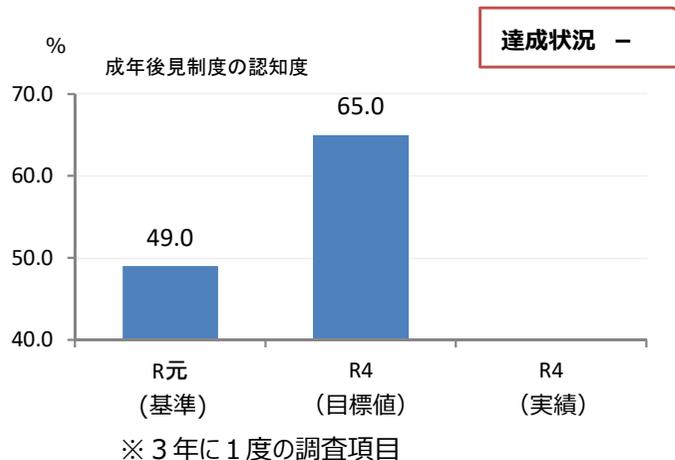
- ・引き続き、見守りに協力していただける事業者を増やすために周知を図る。

4 本人の意思を尊重した支援

【目指す姿】

住民がお互いさまの気持ちで協力し支え合いながら、住み慣れた地域で暮らし続けています。

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

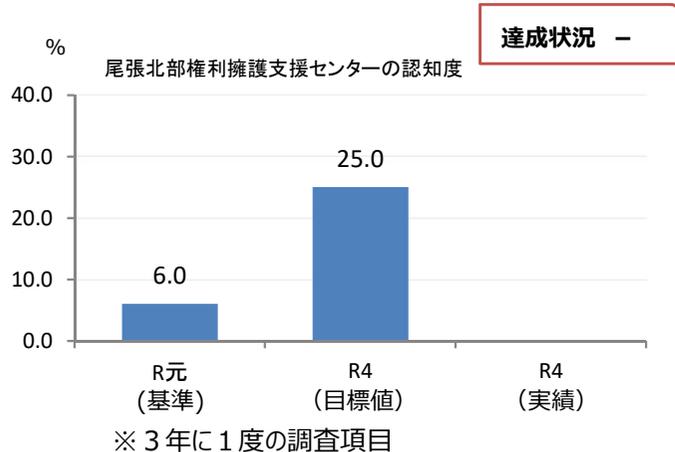


【取組み状況】

- ・行政職員、福祉職のための成年後見制度研修会（72名）や住民のための成年後見制度勉強会（60名）を現地とオンラインで開催するなど、成年後見制度の周知を図っている。
- ・成年後見制度を利用するにあたり、支援が必要な場合、小牧市成年後見制度利用支援事業に沿って4名の方へ支援を行った。（必要となる費用を負担することが困難な方に対し、市が費用を助成）

【今後の取組み方針等】

- ・研修をすることで制度への理解が進み、相談にもつながることから引き続き職員や住民を対象とし、成年後見制度に関する研修や勉強会を開催する。
- ・民生委員や地域包括支援センター及び尾張北部権利擁護支援センター等との連携を図り、成年後見が必要な市民に対し、周知を図る。



【取組み状況】

- ・上記、成年後見制度の周知に加え、権利擁護に関する講演会（37名）や権利擁護支援者の養成研修（19名）を開催した。
- ・相談業務については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面の面談・会議を控えてオンラインで実施し、メールや電話を活用するなどした。

【今後の取組み方針等】

- ・小牧市立中央図書館に対し、雑誌スポンサー制度を3冊分利用し、広告表示を行う。
- ・地域包括支援センターや介護事務所・医療機関等との連携を図り、権利擁護を必要とする住民への相談等支援を行う。
- ・中核機関としてのネットワークづくりを一層進める。
- ・オンラインによる相談、研修の技術を向上させる。

4 本人の意思を尊重した支援

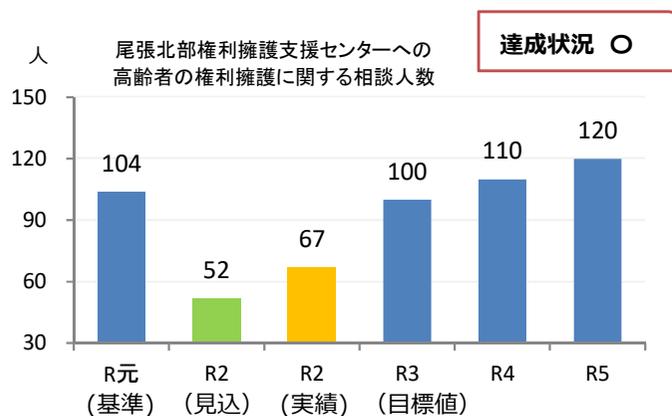
【目指す姿】

住民がお互いさまの気持ちで協力し支え合いながら、住み慣れた地域で暮らし続けています。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したもの
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったもの
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったもの

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

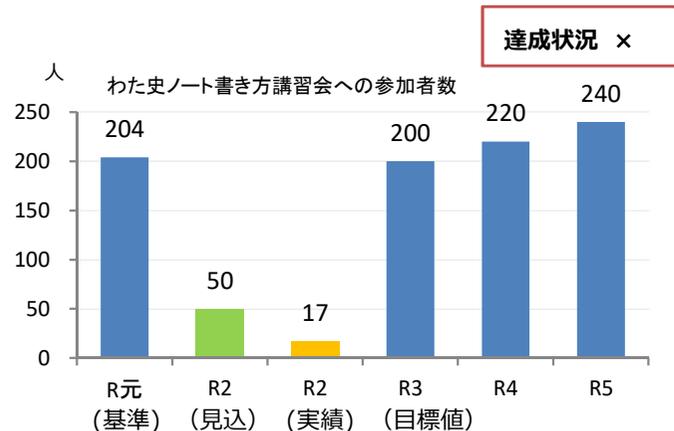


【取組み状況】

- ・ケース（虐待・自立支援・成年後見申立）対応や成年後見に関する親族申立て支援等、電話、面談、巡回、オンライン（ZOOM利用）による相談を行った。
- ・令和2年度の相談実績は205人を対象に延べ1,479件であり、小牧市は111人で延べ688件のうち、高齢者の権利擁護に関する相談は67人であった。

【今後の取組み方針等】

- ・民生委員、地域包括支援センター、介護事業所及び医療機関等、地域と連携し、権利擁護に関する相談が必要な住民に対し、相談を行う。
- ・オンラインによる相談、研修の技術を更に向上させる。



【取組み状況】

- ・わた史ノート書き方講習会を1回開催した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数、参加人数ともに減少した。

【今後の取組み方針等】

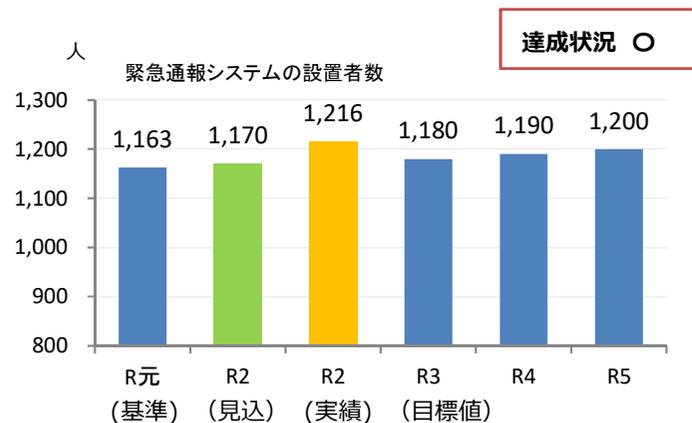
- ・今年度も実施回数、参加人数は目標には届かないかもしれないが、新型コロナウイルス感染症対策を講じた開催に向けて準備を進め、わた史ノートの周知から、自分らしい終末期へ向けて考えるきっかけとなるよう啓発活動を続ける。

5 生活支援や高齢者に配慮した住まい環境の整備

【目指す姿】

住民がお互いさまの気持ちで協力し支え合いながら、住み慣れた地域で暮らし続けています。

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

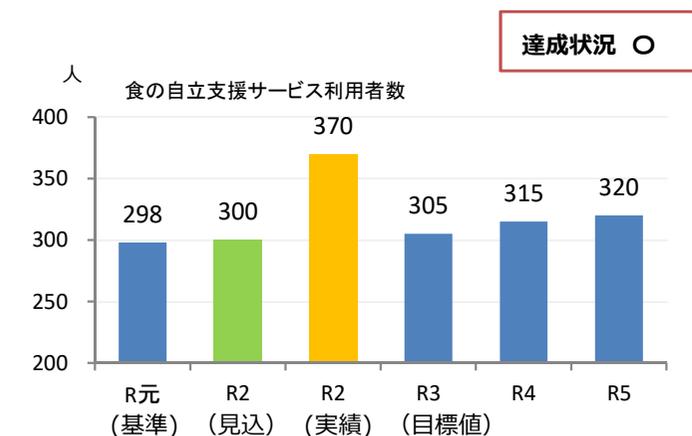


【取組み状況】

- ・ひとり暮らし高齢者等の急病等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう、緊急通報体制を整備し、緊急時には協力員への連絡や救急車、警備員等の出動につなげた。
- ・緊急通報の利用に必要なNTT電話回線について、生活保護受給者等の所得税非課税世帯に対して貸与している市回線数を、従来の25回線から拡充したことで、必要な方への支援を進めることができた。

【今後の取組み方針等】

- ・何らかの支援を必要としているひとり暮らし高齢者等について、民生委員や地域包括支援センター等と連携して、適切なサービス利用につなぐことができるような体制を維持し、サービスの周知を図る。



【取組み状況】

- ・希望される65歳以上のひとり暮らし高齢者及び65歳以上の高齢者のみ世帯の方に、栄養バランスのとれた食事（普通食）を、利用者の安否確認のためにお弁当の直接の受け渡し可能な方に対し、毎週月曜日から金曜日のうち希望される曜日（最大5回/週、土・日・祝・お盆・年末年始などを除く。）に、1食当たり350円にて配達業者より届けた。
- ・お弁当の見本写真を小牧市ホームページに公開した。

【今後の取組み方針等】

- ・民生委員や地域包括支援センター等と連携し、食の自立支援サービスが必要な方が利用できるようなサービスの周知を図る。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したもの
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったもの
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったもの

5 生活支援や高齢者に配慮した住まい環境の整備

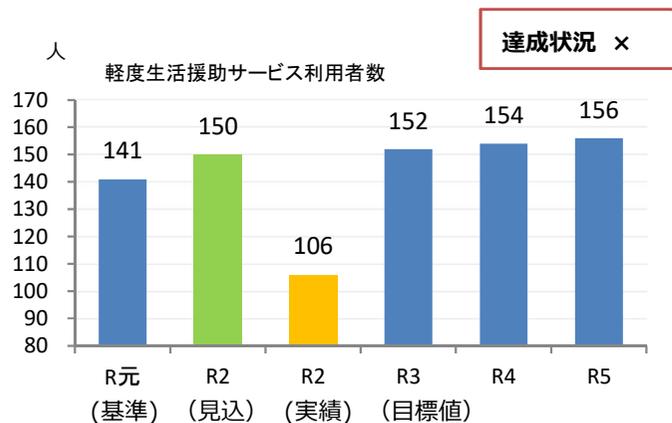
【目指す姿】

住民がお互いさまの気持ちで協力し支え合いながら、住み慣れた地域で暮らし続けています。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したものと
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったものと
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったものと

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

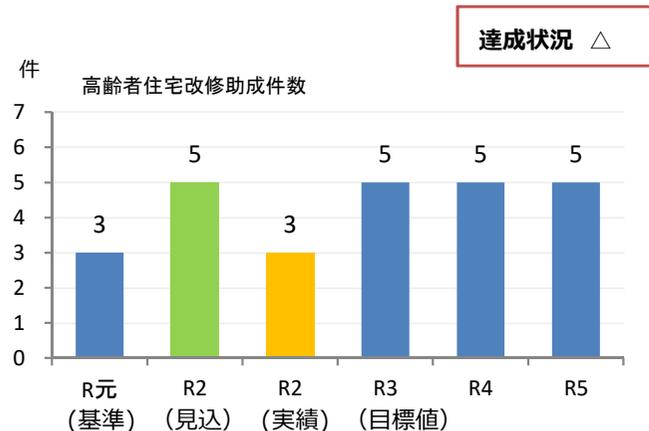


【取組み状況】

- ・庭の手入れや家屋の清掃など、軽易な日常生活上の支援を行った。
- ・昨年度から利用者数が減った理由として、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者及びシルバー人材センター会員の自粛によるものと考えられる。

【今後の取組み方針等】

- ・高齢社人口の増加に比例して、サービスを必要とする方の増加が見込まれるため、ガイドブック等で周知を図る。



【取組み状況】

- ・市ホームページ、いきいきファイルなどへの掲載で高齢者福祉制度の一つとして周知し、随時相談を受け付けた。

【今後の取組み方針等】

- ・市ホームページ、いきいきファイルなどへの掲載により制度の周知を図り、適切な住環境の整備をすることで、高齢者が在宅で生活を続けられるよう支援していく。

5 生活支援や高齢者に配慮した住まい環境の整備

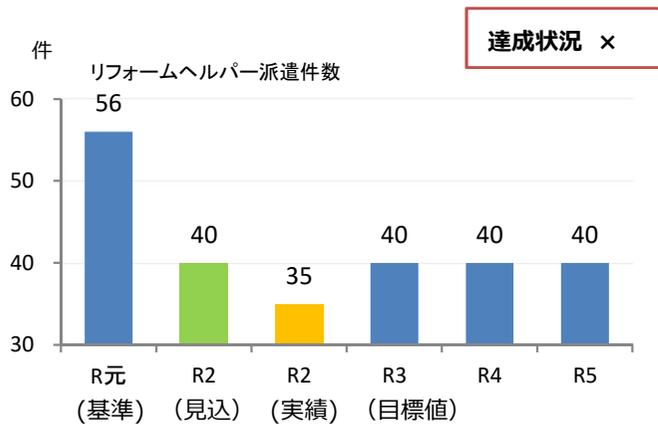
【目指す姿】

住民がお互いさまの気持ちで協力し支え合いながら、住み慣れた地域で暮らし続けています。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したもの
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったもの
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったもの

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】



【取組み状況】

・市ホームページ、いきいきファイルなどへの掲載で高齢者福祉制度の一つとして周知し、随時相談を受け付けた。

【今後の取組み方針等】

・市ホームページ、いきいきファイルなどへの掲載により制度の周知を図り、適切な住環境の整備をすることで、高齢者が在宅で生活を続けられるよう支援していく。

【参考】指標	R元	R2
サービス付き高齢者向け住宅	3施設	4施設
有料老人ホーム	17施設	18施設

6 家族介護者への支援

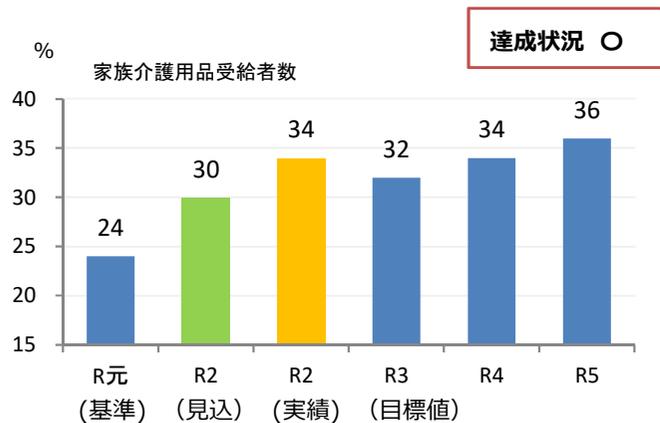
【目指す姿】

住民がお互いさまの気持ちで協力し支え合いながら、住み慣れた地域で暮らし続けています。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したもの
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったもの
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったもの

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】



【取組み状況】

・高齢者を介護している家族等を支援するために、介護用品の購入の支援を行っているが、高齢化に伴い利用者は微増している。

【今後の取組み方針等】

・高齢社人口の増加に比例して、サービスを必要とする方の増加が見込まれるため、ガイドブック等で周知を図る。

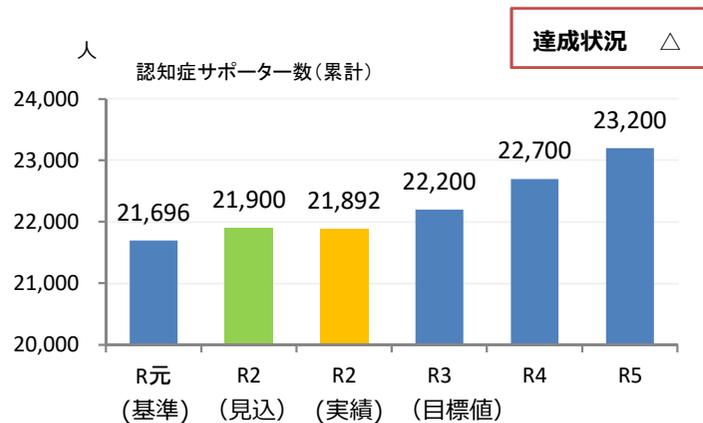
第6章 認知症施策の推進

1 普及啓発・本人発信支援

【目指す姿】

認知症になっても、ならなくても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができます。

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

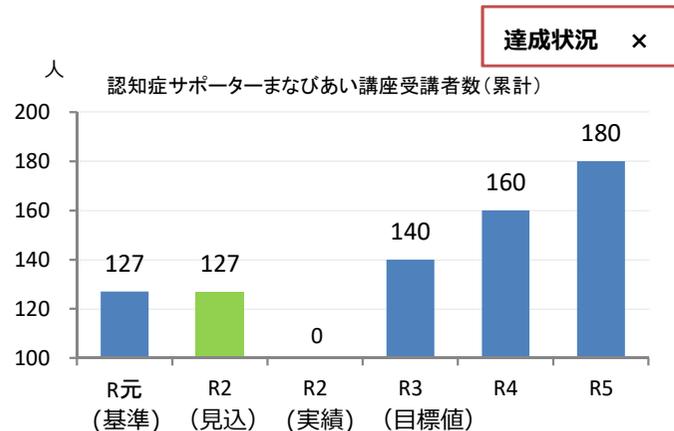


【取組み状況】

- ・認知症サポーター養成講座は、地区の集まりや企業、小学校の生徒などを対象に10回(196名)の講座を開催した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響から開催が中止になった講座もあった。その中でも、対面ではなくオンライン形式での開催をする等新しい生活様式の実践を行った。

【今後の取組み方針等】

- ・認知症サポーターを幅広い世代に広げるため、企業や市民に普及啓発を行い、小中学校には講座の実施依頼を奨めている。
- ・認知症に関する理解を更に深めるためのまなびあい講座(ステップアップ講座)へ繋げるため、より多くの人材発掘に向けて、感染対策を講じながら講座を開催する。



【取組み状況】

- ・認知症サポーターを対象に、認知症に関する知識の向上や地域福祉活動の紹介、認知症を患った当事者と介護者の声を聞く機会を作る等、地域での活動に繋げるため、まなびあい講座(ステップアップ講座)を行っていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、講座の開催を見送った。

【今後の取組み方針等】

- ・感染対策を講じながら開催する予定。(R3.10月、11月)
- ・各地域包括支援センターが認知症サポーターに個別で声掛けを行い、認知症サポーター養成講座に参加した方にまなびあい講座の周知を図っている。また、講座のチラシを作成し、配布する。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したものと
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったものと
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったものと

2 認知症の予防と早期発見・対応支援

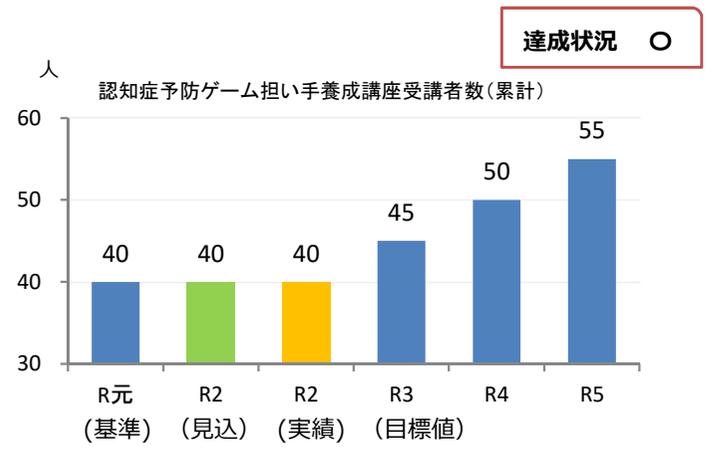
【目指す姿】

認知症になっても、ならなくても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができます。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したもの
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったもの
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったもの

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

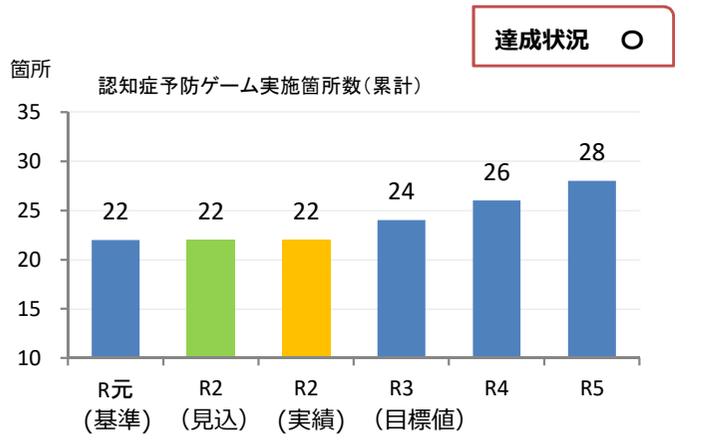


【取組み状況】

- 令和2年度は、認知症予防ゲームリーダー養成講座修了生に対する支援として、ゲームの振り返りやスキルアップを目的とした「認知症予防ゲームリーダースキルアップ講座」を開催した。新たな担い手を養成する認知症予防ゲーム担い手養成講座は開催していない。

【今後の取組み方針等】

- 新規にリーダーを養成するだけでなく、修了生の支援を行う中で、リーダーの有志のメンバーとともに「認知症予防ゲーム」を定期的に開催する場の構築に向けて勉強会を行うなど、身近な地域での認知症予防の支援を継続して行う。



【取組み状況】

- 認知症予防ゲームリーダー養成講座の受講生を中心に、地域のサロンや認知症カフェで認知症予防ゲームが実践されている。
- 養成講座修了生と今後の認知症予防ゲームの展開について検討を行う中で、有志のメンバーが集まり、認知症予防ゲームの実践を含めた勉強会を開催した。

【今後の取組み方針等】

- 認知症予防ゲームを体験できる場として、認知症予防ゲームリーダーが講師となって、一般市民に対し、「認知症予防ゲーム講座」を開催する。
- リーダーへの支援として、地域包括支援センターとともに、引き続き、認知症予防ゲームリーダーの勉強会を開催する等、リーダーのスキルアップや活動展開を支援する。

2 認知症の予防と早期発見・対応支援

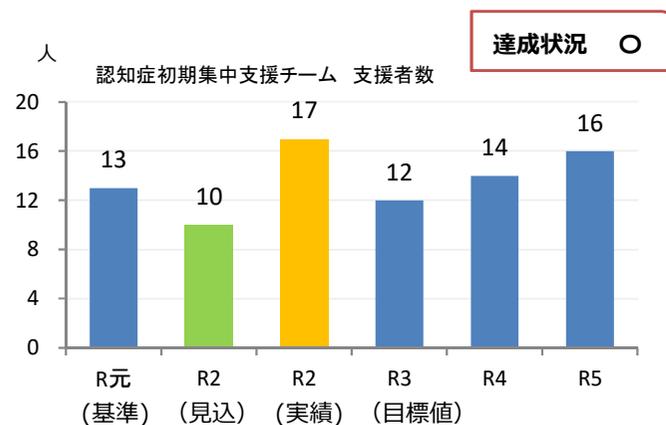
【目指す姿】

認知症になっても、ならなくても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができます。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したものの
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったものの
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったものの

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

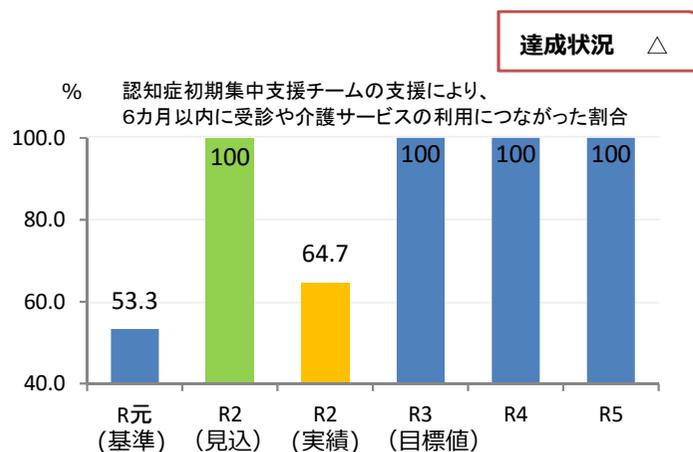


【取組み状況】

- ・令和2年度、認知症初期集中支援チームで、17件のケースの訪問等支援を行った。また、実際にチームとして訪問等は行っていないが、地域包括支援センターの職員から支援のあり方について相談を受けたケースが7件あった。
- ・地域包括支援センターとの情報共有を積極的に行うため、認知症地域支援推進員にチーム員会議へ出席してもらうなどチームとの連携強化に努めた。

【今後の取組み方針等】

- ・引き続き、地域包括支援センター(特に認知症地域支援推進員)との連携を意識し、集中的に支援を行う。
- ・支援が必要なケースの相談受付の仕方について検討を行い、早期対応を充実させる必要がある。



【取組み状況】

- ・認知症初期集中支援チームの支援により、医療受診や介護保険サービスにつながったケースは、17件中11件(64.7%)であった。
- ・チームが介入したことで、認知症の専門医につながったケースもあった一方で、通院が困難なため、何とか往診という形で医療の継続を調整したケースもあった。
- ・また、チームが介入したことで、ほとんどの方が介護保険の認定や申請に至ったが、実際にサービスの導入までに至らなかったケースも半数以上を占めた。

【今後の取組み方針等】

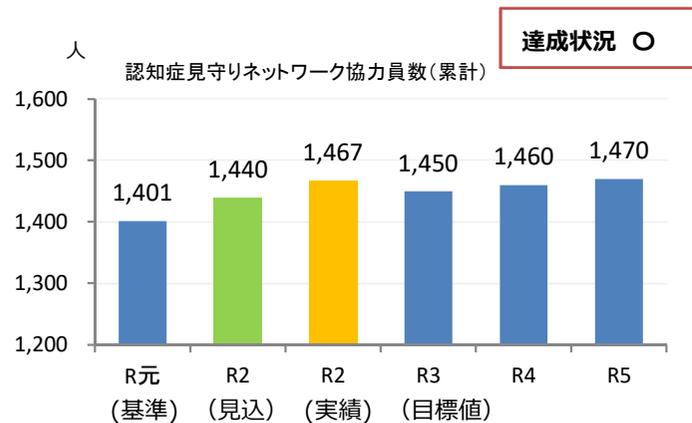
- ・対応が困難になってから、支援の依頼を受けることが多いが、支援開始のタイミングを見直すことで、早期対応につながるため、地域包括支援センターとの情報共有を引き続き積極的に行い、連携強化を図る。
- ・また、チーム員としても、研修等を積極的に受講し、スキルアップを目指す。

3 認知症バリアフリーの推進

【目指す姿】

認知症になっても、なくても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができます。

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

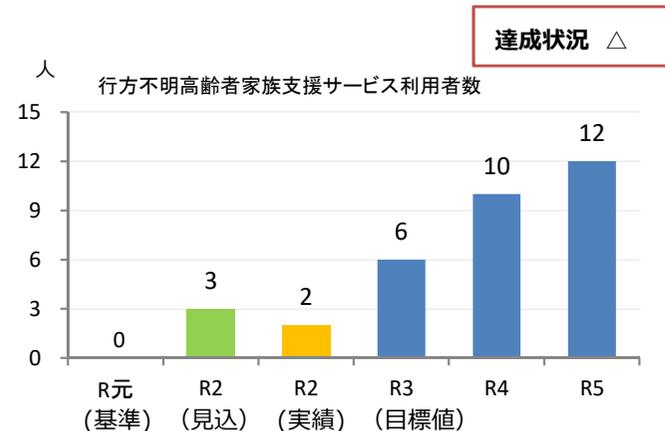


【取組み状況】

- ・見守り協定を締結した事業者に対して、認知症見守りネットワーク会員登録の案内文書を送付し、周知を図った。
- ・令和2年度末現在、メール会員1,047名、FAX会員420名の会員があり、会員数は増加傾向である。
- ・警察署からの依頼を受け、認知症により行方不明となった高齢者の情報をネットワーク会員へメール及びFAXにより配信し、発見につなげた。

【今後の取組み方針等】

- ・今後もネットワーク協力員数を増やすため、こまき巡回バス「こまくる」のデジタルサイネージに表示するなど周知を図る。



【取組み状況】

- ・令和元年度はサービス申込の相談を何件か受けたものの、実際には申込まで至らなかったが、令和2年度においては、申込の相談時に具体的な助成対象機器の例を紹介するなど丁寧な案内に努めた結果、2名の方への助成につながった。

【今後の取組み方針等】

- ・引き続き丁寧な案内に努めるとともに、サービス利用者数を増やすため周知を図る。

※達成状況の項目について

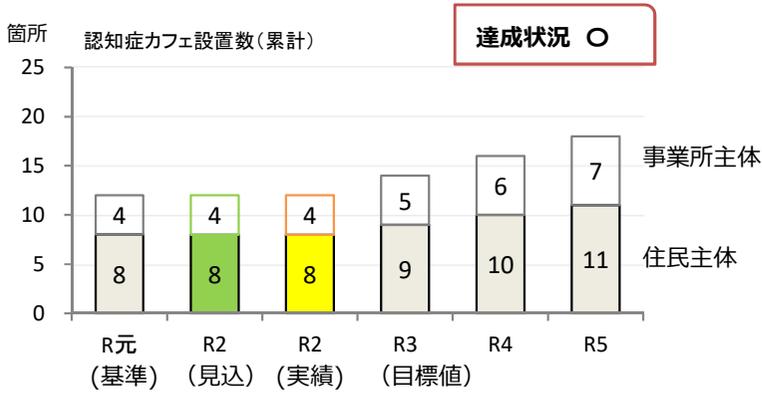
- ・・・令和2年度の見込値を達成したもの
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったもの
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったもの

3 認知症バリアフリーの推進

【目指す姿】

認知症になっても、ならなくても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができます。

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

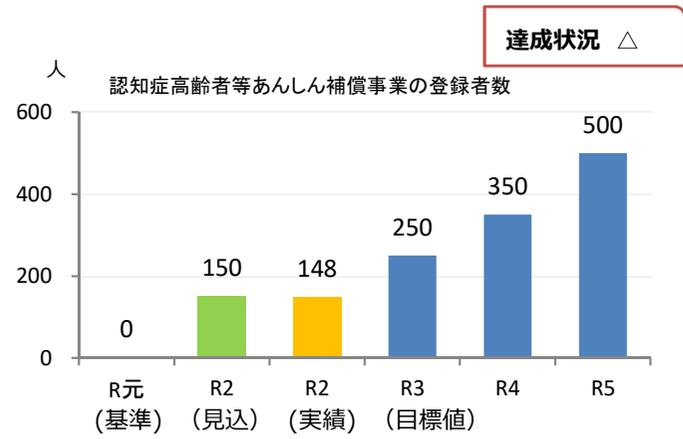


【取組み状況】

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、認知症カフェの開催も難しい状況であった。地域包括支援センター（認知症地域推進員）と内容を相談しながら、感染対策を実施しながら開催した。
- 事業所主体のカフェは、新型コロナウイルス感染症の影響から開催を見送った。

【今後の取組み方針等】

- 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、事業所主体のカフェを増やすため、新規開設を目指し働きかけを行う。
- 引き続き、住民主体のカフェに関しては、認知症地域支援推進員が中心となり、継続的に開催できるよう支援する。



【取組み状況】

- 令和2年6月1日より開始した認知症高齢者等個人賠償責任保険への加入者は148名であった。（南部38名、中部13名、西部4名、味岡42名、篠岡26名、北里25名※年度途中脱退者含む）
- 認知症高齢者等あんしん補償事業（認知症見守りステッカー、認知症高齢者等個人賠償責任保険）として、地域包括支援センターや事業所等から利用者へ紹介するなど周知を図った。

【今後の取組み方針等】

- 令和3年7月末時点で認知症高齢者等個人賠償責任保険への加入者は166名であり、この制度を利用する方は今後も増えていくと思われる。
- ケアマネジメント支援部会開催の研修時や認知症サポーター養成講座開催時など、引き続き認知症高齢者等あんしん補償事業の周知を図るとともに、認知症の方が住み慣れた地域で安心して過ごせる地域づくりを目指す。

3 認知症バリアフリーの推進

【目指す姿】

認知症になっても、なくても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができます。

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

	R元	R2
かかりつけ医認知症対応力向上研修受講者数	27人	27人
認知症サポート医研修受講者数	7人	7人
歯科医師認知症対応力向上研修受講者数	3人	3人
薬剤師認知症対応力向上研修受講者数	2人	2人

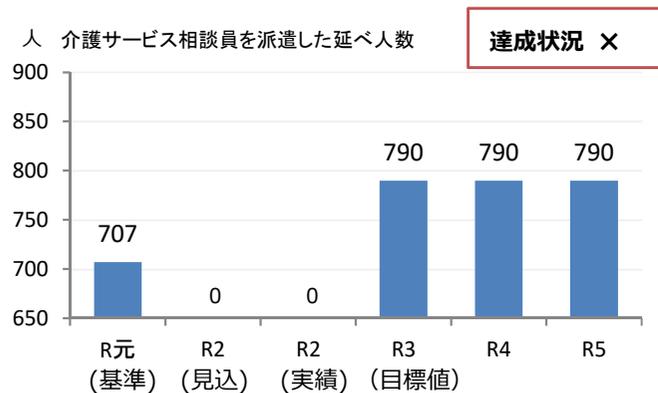
第7章 質が高く安定した介護保険事業の運営

1 介護サービスの質的向上の促進

【目指す姿】

高齢者が住み慣れた地域で質の高い介護サービスを受けながら、安心して暮らしています。

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

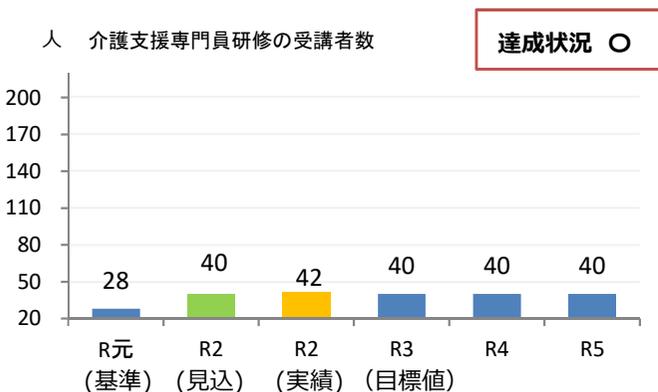


【取組み状況】

・新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度の派遣は中止した。

【今後の取組み方針等】

・国県の通知等に基づき派遣の再開を判断する。
・新設された施設等に介護サービス相談員制度を周知し、理解を求め、受け入れ事業所を増やしていくことで、より様々な利用者の声を聞き、介護サービスの質的な向上に努める。



【取組み状況】

・介護支援専門員に対し、より専門性の高い知識、技術、実践力を習得するための研修を市・小牧市介護支援専門員連絡協議会主催で実施し、ケアプラン及びそれに基づく介護サービスの質的な向上を図った。

【今後の取組み方針等】

・介護支援専門員に対して実施する研修の見直しを図ることで、専門性の高い研修を引き続き実施し、介護支援専門員の資質の向上が図れるよう支援する。

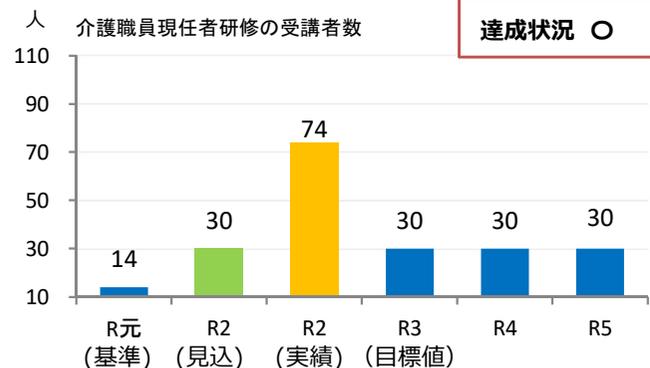
第7章 質が高く安定した介護保険事業の運営

1 介護サービスの質的向上の促進

【目指す姿】

高齢者が住み慣れた地域で質の高い介護サービスを受けながら、安心して暮らしています。

【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】



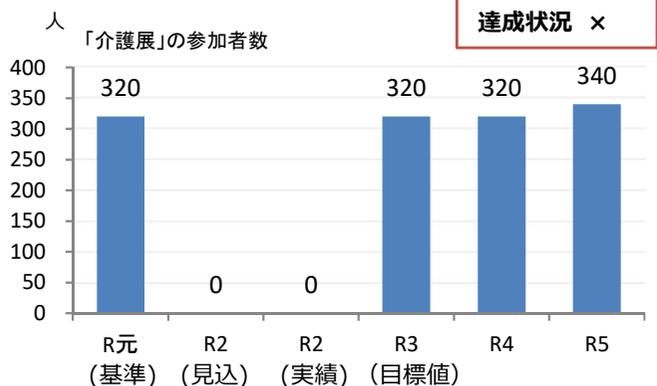
【取組み状況】

・介護サービスにおいて大きな役割を担う介護職員に対して、高齢者施設に求められているリスクマネジメントや感染症に関する実践的な対策などの研修を市主催で実施することにより、介護サービス事業者の資質の向上を図り、安心かつ適切なサービスが提供されるよう支援した。

・また、コロナ禍において、オンライン形式で開催することにより、参加者が増加したと考えられる。

【今後の取組み方針等】

・受講者が増えるよう、研修の内容や開催時期、実施方法等を見直し、介護サービス事業者の資質の向上を図る。



【取組み状況】

・一般市民の介護保険サービスに対する理解の促進を図るため、毎年「介護展」を開催しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、令和2年度の開催は中止した。

【今後の取組み方針等】

・令和3年度の「介護展」は当初6月20日に開催する予定を11月21日に延期したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、中止とした。

※達成状況の項目について

- ・・・令和2年度の見込値を達成したもの
- ×・・・令和2年度の見込値を達成できなかったもの
- △・・・令和2年度の見込値を達成できなかったが、令和元年度の基準値を上回ったもの

2 介護サービス事業者への支援

【目指す姿】

高齢者が住み慣れた地域で質の高い介護サービスを受けながら、安心して暮らしています。

【取組み状況】

・介護保険サービス事業者連絡会との連携強化を図り、介護保険サービス事業者に対してサービス相互の更なる連携を推進した。また、介護保険サービス事業者同士が情報提供・共有を図ることで、利用者が適切にサービスを選択できるように支援するため、令和2年度は総会・部会・幹事会を合計17回実施し、サービスの種類ごとの事業所で意見交換などを行い、またサービスの種類ごとの課題についての研修会を合計2回実施した。

・非常時に備えて、避難訓練の実施や食料、飲料水、生活必需品などの物資の備蓄・調達状況の確認及び事業所などにおけるリスクの把握のため、災害に対する具体的な計画を実地指導を行い確認する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

・介護サービス事業所等において、利用者等に新型コロナウイルス感染症が発生した場合でも必要なサービスを継続できるようにするため、不足するおそれのある衛生用品を市で備蓄し、介護サービス事業所などに周知した。

・災害や感染症の発生後、速やかに介護保険サービスの提供が復旧できるよう、BCP（事業継続計画）の作成状況を実地指導を行い確認する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

【今後の取組み方針等】

・会員事業所に対して、介護保険制度の改正などについて、速やかに情報発信を行い、適切な事業運営の支援をしていく。また、介護保険サービス事業者連絡会の会員となっていない事業所について、介護保険サービス事業者連絡会の周知を行い、新規会員が増えるよう取り組みをしていく。

・非常時に備えて、避難訓練の実施や食料、飲料水、生活必需品などの物資の備蓄・調達状況の確認及び事業所などにおけるリスクの把握のため、災害に対する具体的な計画を定期的に確認する。

・介護サービス事業所等の職員が感染症の知識を持って対応できるように、感染症に対する研修の充実を図るとともに、介護サービス事業所等に感染防護具、消毒液等の必要な物資の備蓄体制の整備を促します。

・災害や感染症の発生後、速やかに介護保険サービスの提供が復旧できるよう、BCP（事業継続計画）の作成を支援する。

3 適正化の推進

【目指す姿】

高齢者が住み慣れた地域で質の高い介護サービスを受けながら、安心して暮らしています。

【取り組み状況】

1. 要介護認定の適正化

認定調査票の点検を2名以上の職員で全件行うことにより、判定結果のばらつきをなくすように努めた。

2. ケアプランの点検

事業所へ職員が訪問し介護支援専門員等とともにケアプランを確認・検証する予定だったが、新型コロナウイルス感染対策のため、1事業所のための点検となった。

3. 住宅改修、福祉用具購入・貸与の点検

住宅改修や福祉用具の購入・貸与に関する申請等の書類について確認を行い、給付の妥当性等が判断できない案件について、事業者への確認や訪問調査をした。

(点検実績)

書類点検	
・住宅改修	442件
・福祉用具購入	400件
・福祉用具貸与(例外給付)	116件

実地点検

・住宅改修	35件
・福祉用具購入	0件
・福祉用具貸与(例外給付)	0件

4. 医療情報との突合・縦覧点検

国民健康保険団体連合会から提供されるリストを確認し、疑義のあるケースについて、事業者への確認をした。

(点検実績) 47件

5. 介護給付費通知の送付

受給者に対して、実際に利用したサービスの種類、回数、費用について、3月、6月、9月、12月の年4回通知した。

【今後の取り組み方針等】

1. 要介護認定の適正化

eラーニング等を活用することにより、認定調査員の質の向上を図るほか、認定調査結果の全件点検の継続を行うことにより、要介護認定の適正化を図ります。

2. ケアプランの点検

新型コロナウイルスの感染対策をした上で事業所に確認し実施可能な事業所からケアプラン点検をしていく。ケアプランの点検をすることで個々の受給者の状況に応じた適切なサービス提供が行われるようにしていく。

3. 住宅改修、福祉用具購入・貸与の点検

住宅改修や福祉用具の購入・貸与に関する申請等があった場合に、受給者の生活状況、給付の妥当性等を確認することにより、不適切な給付の削減を図る。

4. 医療情報との突合・縦覧点検

受給者ごとに提供された介護サービスの整合性や算定回数等の点検を行うことにより不適切な給付を削減する。また、受給者の後期高齢者医療や国民健康保険の医療情報と介護サービスの利用情報を突合し、医療と介護の重複請求を防ぐ。

5. 介護給付費通知の送付

受給者に対して、介護サービスの利用状況等について通知し、自ら受けている介護サービスを確認することにより、不適切な給付の削減を図る。

4 介護サービスと介護基盤の整備

介護（予防）給付費等の見込値と実績値の比較

単位：千円

サービス名		R1計画値	R1実績値	差異	R2計画値	R2実績値	差異	R3計画値
居宅サービス	訪問介護	838,526	730,111	108,415	930,331	829,068	101,263	854,324
	訪問入浴介護	57,558	35,820	21,738	61,101	45,259	15,842	46,763
	訪問看護	274,573	201,837	72,736	331,160	230,634	100,526	238,502
	訪問リハビリテーション	37,095	22,216	14,879	44,793	23,131	21,662	25,324
	居宅療養管理指導	129,764	118,753	11,011	144,604	136,357	8,247	144,020
	通所介護	962,970	929,101	33,869	1,025,035	938,961	86,074	983,976
	通所リハビリテーション	406,818	335,430	71,388	458,863	347,160	111,703	357,609
	短期入所生活介護	400,536	372,847	27,689	431,711	328,754	102,957	442,743
	短期入所療養介護（老健）	22,010	10,761	11,249	25,950	7,829	18,121	5,380
	短期入所療養介護（病院）	0	0	0	0	0	0	0
	福祉用具貸与	261,833	258,709	3,124	282,485	290,953	-8,468	284,096
	特定福祉用具購入	11,042	11,000	42	12,129	11,960	169	14,345
	住宅改修	52,110	43,437	8,673	59,094	43,834	15,260	47,172
	特定施設入居者生活介護	234,901	277,718	-42,817	266,531	342,977	-76,446	446,768
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	19,414	1,242	18,172	20,352	3,868	16,484	2,803
	夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0	0	0
	認知症対応型通所介護	47,062	33,229	13,833	53,270	36,927	16,343	40,568
	小規模多機能居宅介護	326,583	279,161	47,422	379,989	302,333	77,656	310,777
	認知症対応型共同生活介護	377,545	389,766	-12,221	388,590	429,449	-40,859	437,209
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0	0	0
	地域密着型介護老人福祉施設	190,120	174,950	15,170	190,120	183,944	6,176	169,652
	看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0	38,607	16,338	22,269	17,344
	地域密着型通所介護	133,217	35,528	97,689	168,235	35,898	132,337	26,981
施設サービス	介護老人福祉施設	1,211,609	1,067,040	144,569	1,292,527	1,100,778	191,749	1,144,828
	介護老人保健施設	657,992	731,090	-73,098	673,304	743,401	-70,097	791,557
	介護医療院	0	0	0	4,191	8,295	-4,104	13,954
	介護療養型医療施設	8,428	6,773	1,655	4,214	4,654	-440	0
介護予防支援・居宅介護支援		327,907	312,434	15,473	344,412	337,277	7,135	357,416
総給付費		6,989,613	6,378,953	610,660	7,631,598	6,780,039	851,559	7,204,111
地域支援事業		705,136	583,281	121,855	736,731	537,609	199,122	600,557

4 介護サービスと介護基盤の整備

第7次 介護保険施設等整備計画		小牧南部	小牧中部	小牧西部	味岡	篠岡	北里
介護老人福祉施設	整備済	1か所(100人)			1か所(100人)	2か所(180人)	1か所(80人)
	本計画期間						
地域密着型 介護老人福祉施設	整備済			1か所(29人)	1か所(29人)		
	本計画期間						
介護老人保健施設	整備済		1か所(105人)	1か所(95人)			
	本計画期間						
認知症対応型 共同生活介護	整備済	1か所(18人)	1か所(18人)	1か所(18人)	2か所(27人)	2か所(27人)	2か所(27人)
	本計画期間			1か所(18人)			
小規模多機能型 居宅介護	整備済	1か所(25人)	1か所(29人)	1か所(29人)	1か所(29人)	1か所(29人)	2か所(58人)
	本計画期間						
看護小規模多機能型 居宅介護	整備済						
	本計画期間					1か所(29人)	
認知症対応型通所介護	整備済		1か所(3人)		1か所(12人)	1か所(3人)	1か所(12人)
	本計画期間	定員が少ない圏域に1か所募集⇒応募なし					△1か所(3人)
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	整備済		1か所				
	本計画期間		△1か所				
地域密着型通所介護	整備済			2か所(20人)		2か所(28人)	
	本計画期間			△1か所(10人)			

【取組み状況】

- ・平成30年7月より公募を行い、看護小規模多機能型居宅介護1事業者、認知症対応型共同生活介護1事業者を令和元年度に整備した。
- ・認知症対応型通所介護施設、未整備。
- ・看護小規模多機能型居宅介護1事業者、認知症対応型共同生活介護1事業者を整備した。

【今後の取組み方針等】

- ・認知症の人は今後も増加傾向にあり、自宅での生活が困難になる人の増加も予想されるため、新たに認知症対応型共同生活介護施設の整備を図る。